

# SEPTENI

2019年9月期

## 第3四半期 決算説明会

株式会社セプテーニ・ホールディングス

[www.septeni-holdings.co.jp](http://www.septeni-holdings.co.jp)

2019年7月30日

## 01 2019/9期 3Q累計期間連結決算概要

## 02 四半期連結決算概要

## 03 ネットマーケティング事業

## 04 メディアコンテンツ事業

## 05 業績予想修正と配当予想

## 06 補足資料

2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております。

従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております。  
ネットマーケティング事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります。

事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております。

Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です。

本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております。

従来より各セグメントへ配賦していた全社費用について、2018年9月期以降は配賦を行わない方針に変更しております。  
当変更に伴い、過年度のセグメント別Non-GAAP営業利益は全社費用を配賦しない基準にて遡及修正しております。

# 01

2019/9期 3Q累計期間連結決算概要

連 結

収益

12,648百万円（前年同期比9.7%増）

Non-GAAP営業利益

1,624百万円（前年同期比94.1%増）

前年同期比で増収、大幅増益

ネット  
マーケ  
ティング  
事業

## 収益

**11,446**百万円（前年同期比 **6.4%増**）

## Non-GAAP営業利益

**3,676**百万円（前年同期比 **16.2%増**）

オーガニック成長及び電通提携の進捗により増収増益

メディア  
コンテンツ  
事業

## 収益

1,413百万円（前年同期比42.4%増）

## Non-GAAP営業利益

-686百万円（前年同期比134百万円赤字縮小）

着実な収益拡大により、前年同期比で赤字縮小が継続

会社名	Lion Digital Global LTD（以下、Lion & Lion社）
主な事業内容	東南アジア地域におけるインターネット広告事業
企業連結日	2016年10月
減損の経緯	急成長する東南アジア市場における競争激化により、買収当初に見込んだ事業計画に対する進捗に乖離が発生した
のれん等減損額	1,812百万円 （のれん1,790百万円、その他の事業用資産23百万円）
今後の方針	今期より現地CEO含め経営陣を刷新し、拠点の集中と選択を推進しながら中長期的に東南アジアにおけるデジタルマーケティングのリーディングカンパニーを目指すべく立て直しを図る

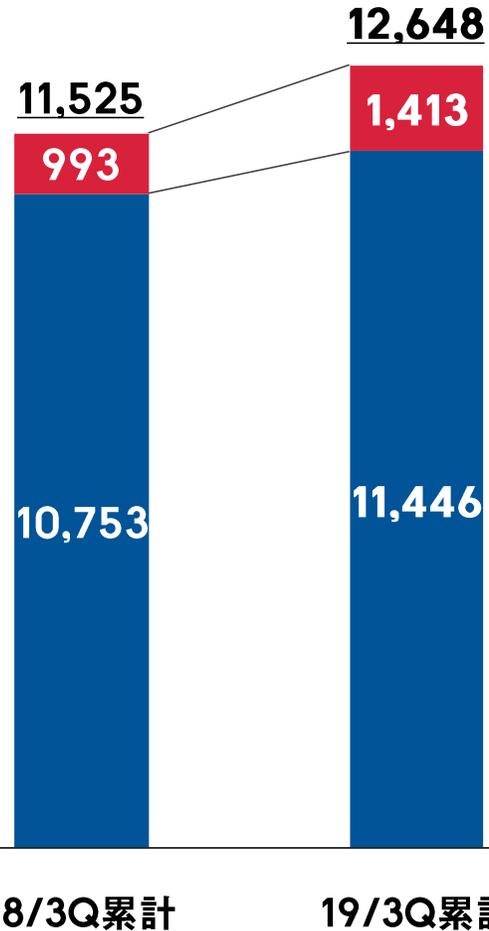
**Lion & Lion社に係るのれん等の減損を計上**

(単位：百万円)	2019年9月期3Q累計			2018/9月期3Q累計		2019年9月期 通期業績予想	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	12,648	100.0%	+9.7%	11,525	100.0%	17,200	73.5%
売上総利益	10,544	83.4%	+9.8%	9,607	83.4%	—	—
販売管理費	8,939	70.7%	+1.8%	8,782	76.2%	—	—
①Non-GAAP営業利益	1,624	12.8%	+94.1%	837	7.3%	2,000	81.2%
②調整額※ (その他の収益/費用)	-1,868	14.8%	—	-10	0.1%	—	—
③営業利益 (①+②)	-244	-1.9%	—	826	7.2%	—	—
④持分法による投資利益等	-291	-2.3%	—	410	3.6%	—	—
⑤法人税所得税費用等	480	3.8%	+2.4%	468	4.1%	—	—
⑥親会社の所有者に帰属する 当期利益 (③+④-⑤)	-1,014	-8.0%	—	768	6.7%	1,300	—
【参考】売上高	58,483	—	+7.6%	54,336	—	77,000	76.0%

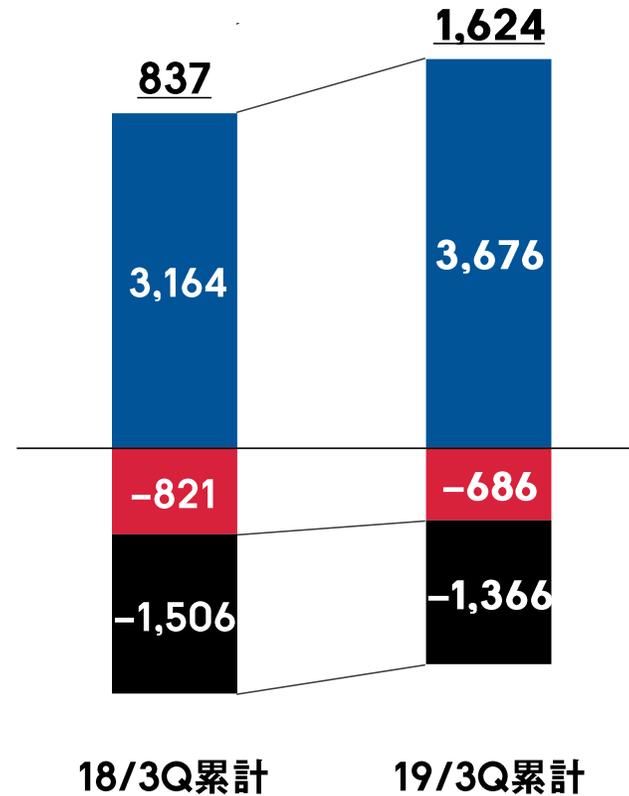
※調整額は、その他の収益における一時的な利益及びその他の費用における一時的な損失の合計値となります。主にLion & Lion社に係るのれん等の減損損失1,812百万円が含まれております。

**増収増益の一方、のれん等の減損により当期利益は赤字**

## 収益



## Non-GAAP営業利益



各セグメントともに  
前年同期比で増収増益

■ ネットマーケティング ■ メディアコンテンツ ■ 調整額 (全社費用等) (単位: 百万円)

※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益 (下線付数値) は一致しない

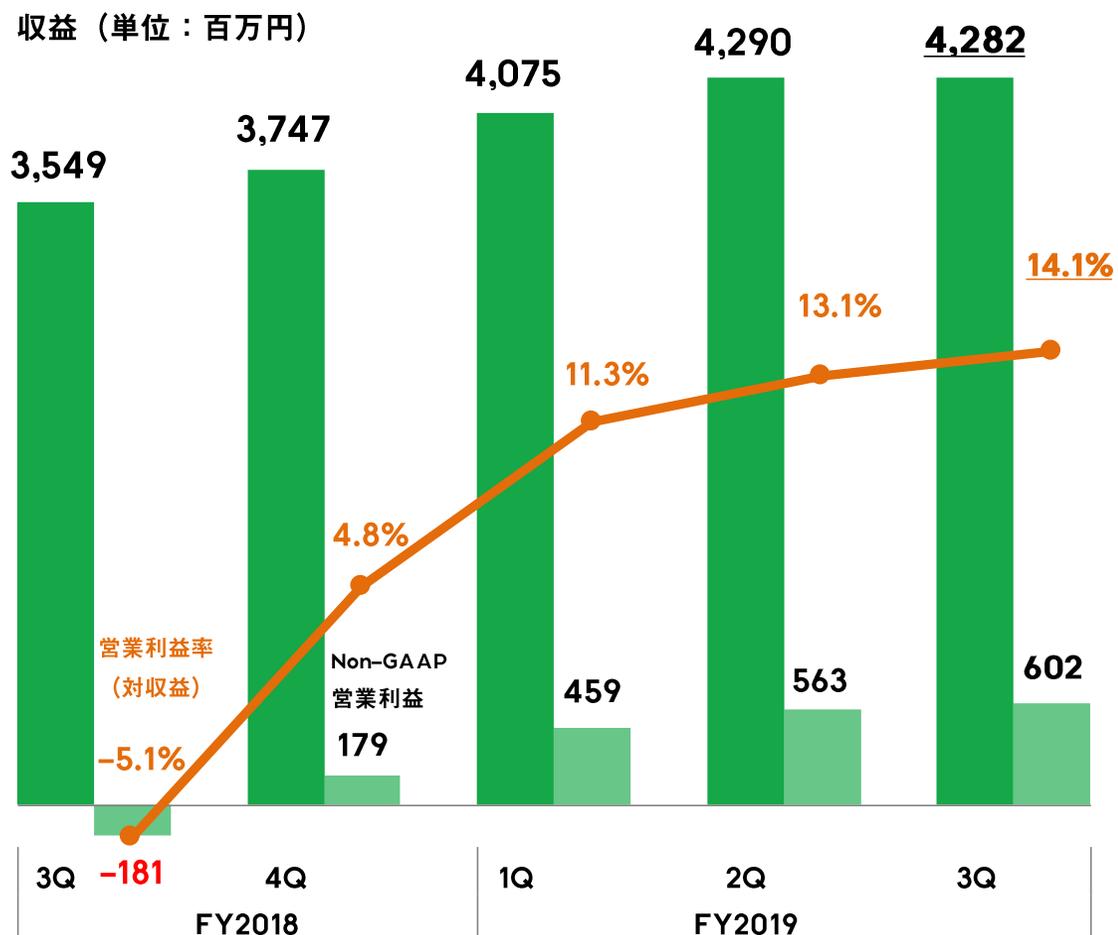
# 02

## 四半期連結決算概要

(単位：百万円)	2019年9月期 3Q			2018/ 9期 3Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	4,282	100.0%	+20.6%	3,549	100.0%
売上総利益	3,592	83.9%	+25.4%	2,865	80.7%
販売管理費	2,990	69.8%	-1.9%	3,047	85.8%
①Non-GAAP営業利益	602	14.1%	—	-181	-5.1%
②調整額※ (その他の収益/費用)	-1,816	42.4%	—	-1	0.0%
③営業利益 (①+②)	-1,214	-28.4%	—	-183	-5.2%
④持分法による投資利益等	73	1.71%	-63.1%	198	5.6%
⑤法人税所得税費用等	230	5.37%	+164,028.6%	0	0.0%
⑥親会社の所有者に帰属する 当期利益 (③+④-⑤)	-1,371	-32.0%	—	14	0.4%
【参考】売上高	19,410	—	+16.3%	16,693	—

※調整額は、その他の収益における一時的な利益及びその他の費用における一時的な損失の合計値となります。主にLion & Lion社に係るのれん等の減損損失1,812百万円が含まれております。

# オーガニック成長とコストコントロールが寄与し増収増益



収益 **4,282**百万円  
 （前年同期比 **20.6%**増）

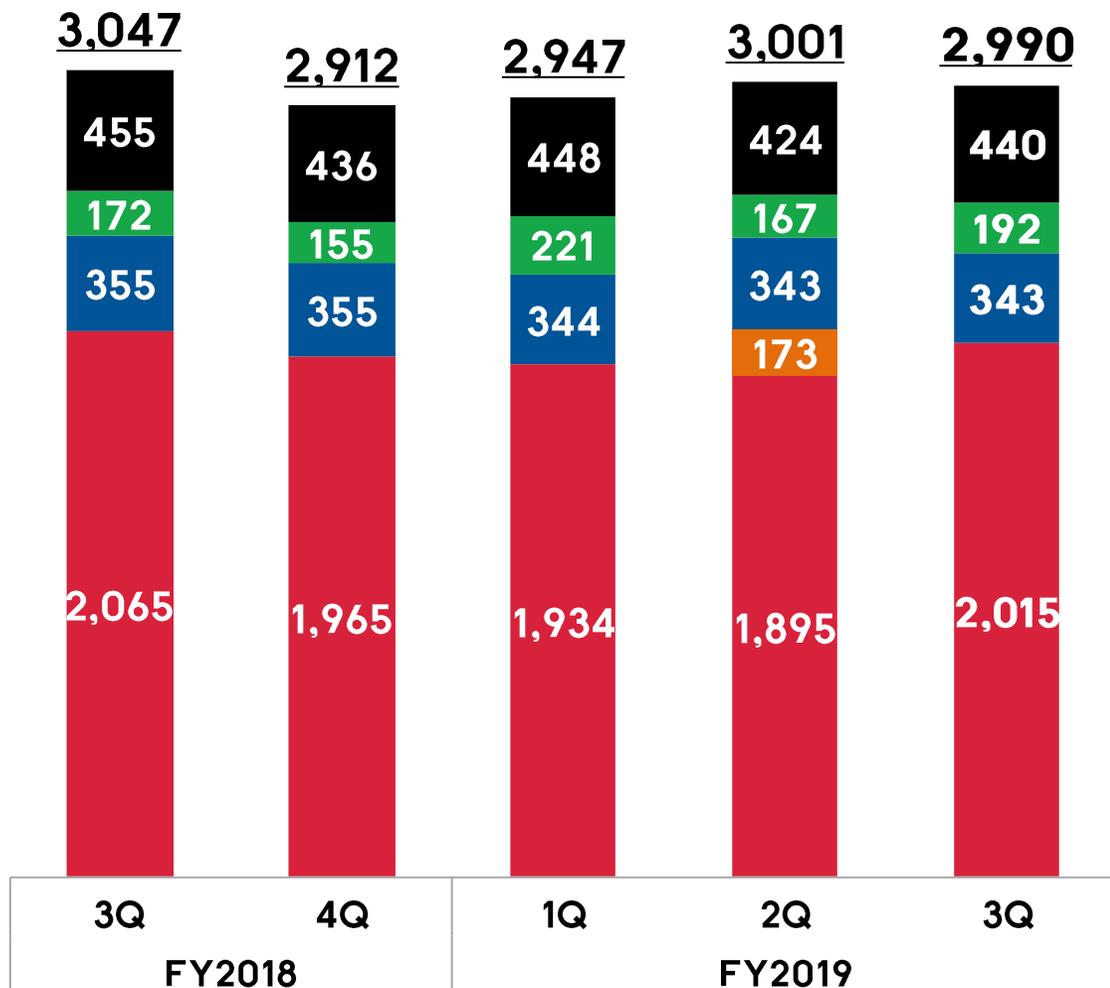
Non-GAAP営業利益 **602**百万円  
 （前年同期比 **783**百万円増）

Non-GAAP営業利益は大幅回復、利益率も改善継続

(単位：百万円)	FY2018		FY2019			QonQ	YonY
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
売上原価合計	684	679	673	740	690	-6.8%	+0.9%
人件費	256	237	273	286	230	-19.5%	-10.1%
外注費	205	199	95	143	98	-32.0%	-52.3%
その他	223	243	306	311	362	+16.6%	+62.9%
販管費合計	3,047	2,912	2,947	3,001	2,990	-0.4%	-1.9%
人件費	2,065	1,965	1,934	1,895	2,015	+6.3%	-2.4%
追加決算賞与	—	—	—	173	—	—	—
賃借料	355	355	344	343	343	+0.0%	-3.2%
販促費・広告費	172	155	221	167	192	+14.9%	+11.8%
その他	455	436	448	424	440	+3.8%	-3.5%

原価・販管費ともにコントロールを継続実施

■ 人件費 ■ 追加決算賞与 ■ 賃借料等 ■ 広告宣伝費 ■ その他（単位：百万円）



FY2018/3Qを  
ピークとして  
コストコントロール継続

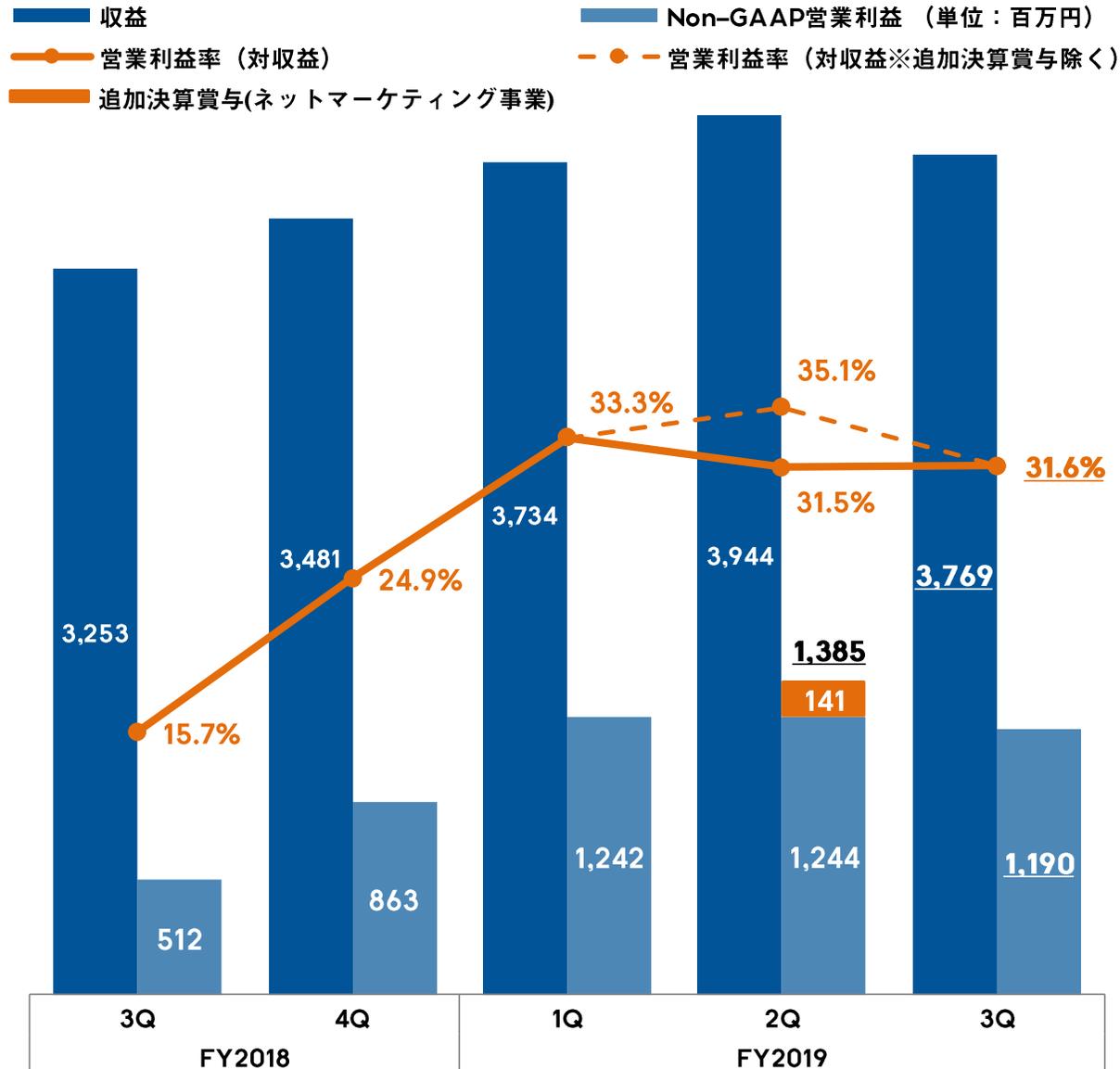
FY2019/3Qの  
新入社員**83名**入社による  
人件費増は計画通りに進捗

# 03

ネットマーケティング事業

(単位：百万円)	2019年9月期 3Q			2018/9期 3Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	3,769	100.0%	+15.8%	3,253	100.0%
売上総利益	3,308	87.8%	+22.3%	2,705	83.1%
販売管理費	2,118	56.2%	-3.4%	2,193	67.4%
Non-GAAP 営業利益	1,190	31.6%	+132.5%	512	15.7%
【参考】売上高	19,012	—	+14.9%	16,548	—

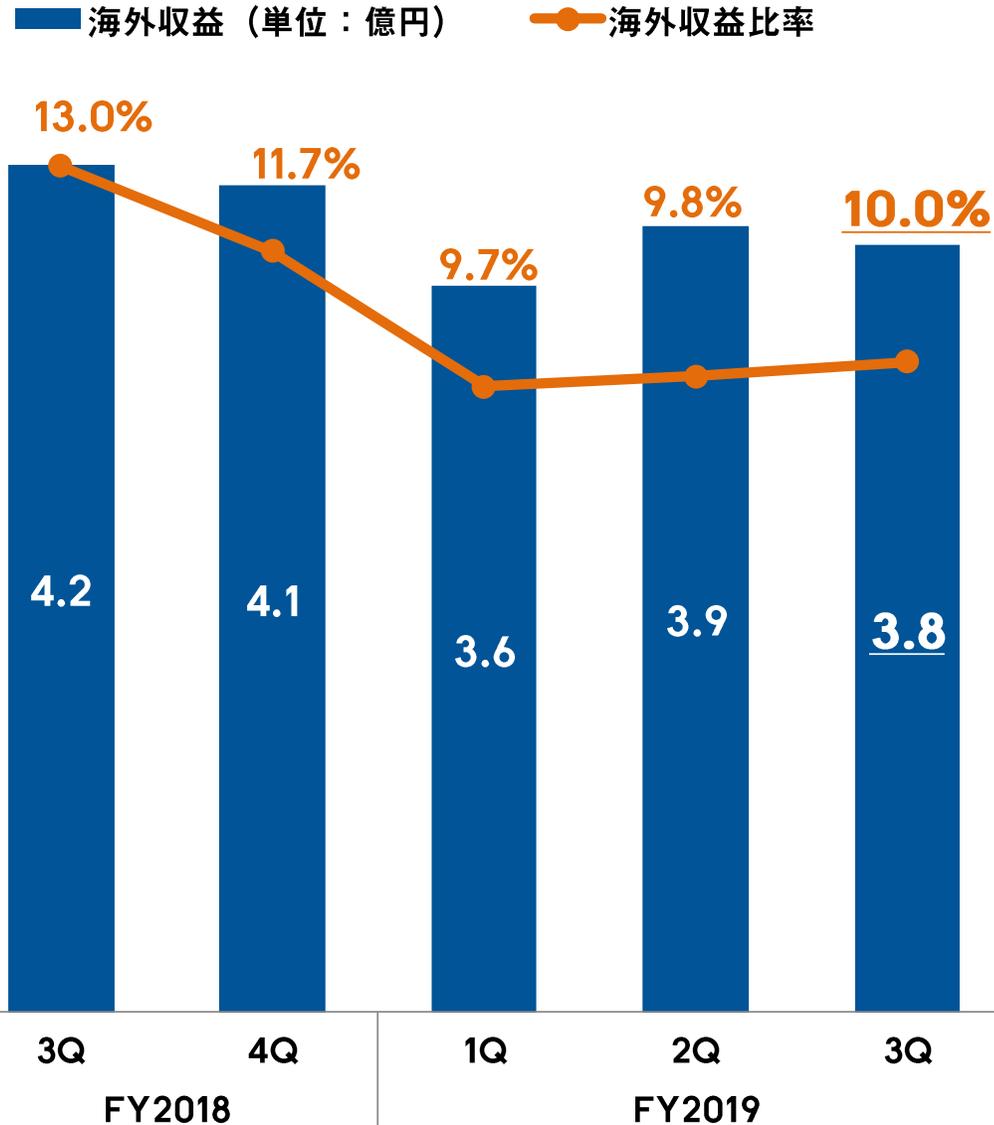
オーガニック成長と電通提携により増収、大幅増益



オーガニック成長と  
電通提携により  
前年同期比で  
**+15.8%の増収、**  
**約2.3倍の増益**

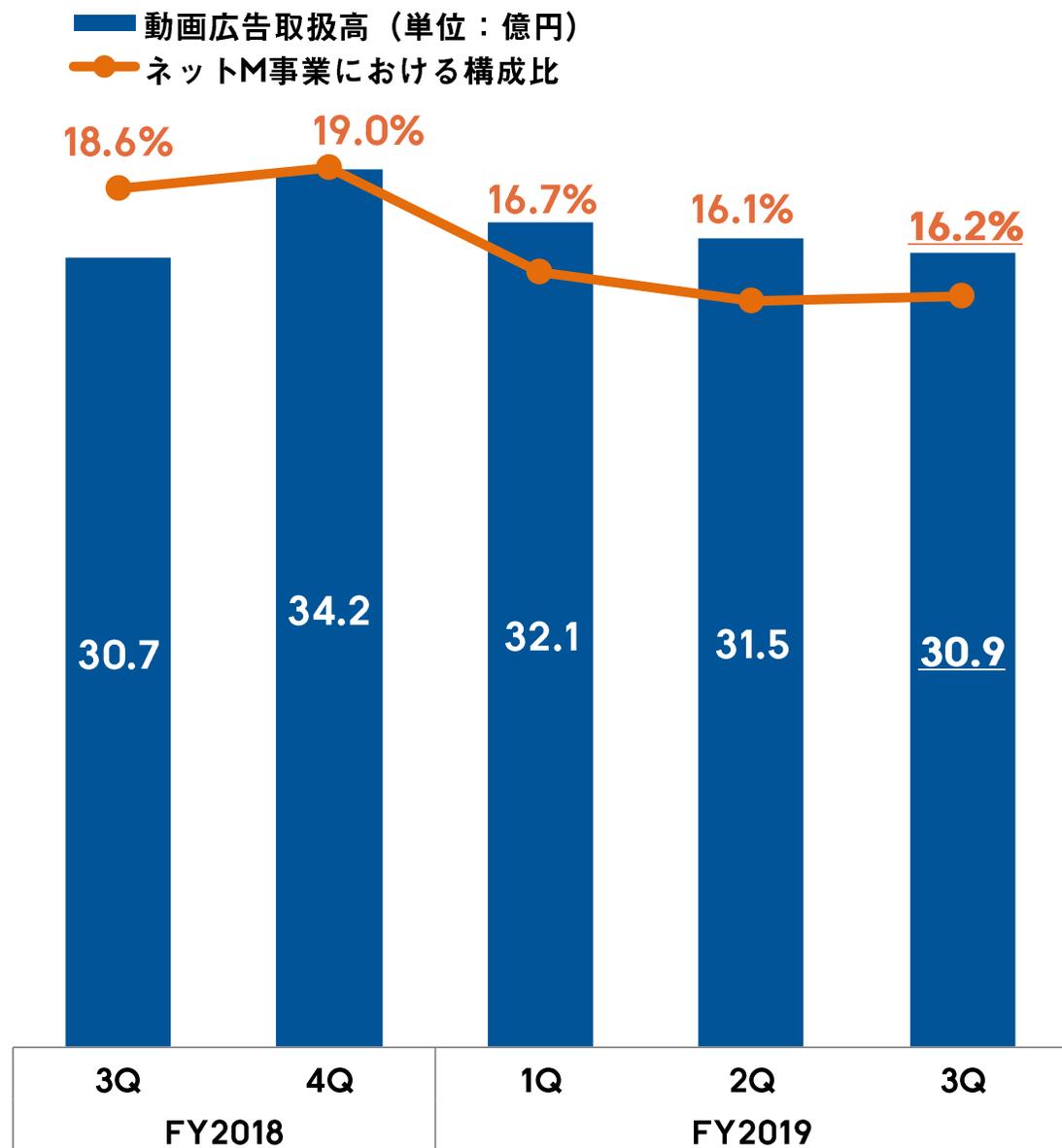
施策	進捗状況	業績への貢献時期
当社から電通グループへ ネットマーケティング事業の ナレッジ、テクノロジーの提供	2Qに続きデジタルマーケティングでの運用の ナレッジ、テクノロジー提供が3Qも継続	FY2019/2Q～
GANMA! を中心とした当社メディアや プロダクトの電通グループによる販売	3月より電通グループによる販売が開始、 販売額は堅調に推移	FY2019/2Q～
電通グループが取り扱う ネットマーケティング案件の 広告運用を当社より支援	当社グループ社員が電通グループへ出向し 広告運用を支援。3Qより体制を強化	FY2019/2Q～
両社が保有する データ資産の相互活用	両社の保有データの相互接続、DMPの活用、 データ分析等を準備中	業績への直接的な 影響はなし
両社の顧客基盤を活用した オンライン/オフライン広告の 統合マーケティング提案	仕掛中案件が順調に増加	準備中

**短期施策が堅調に推移、統合提案は案件拡大に注力**

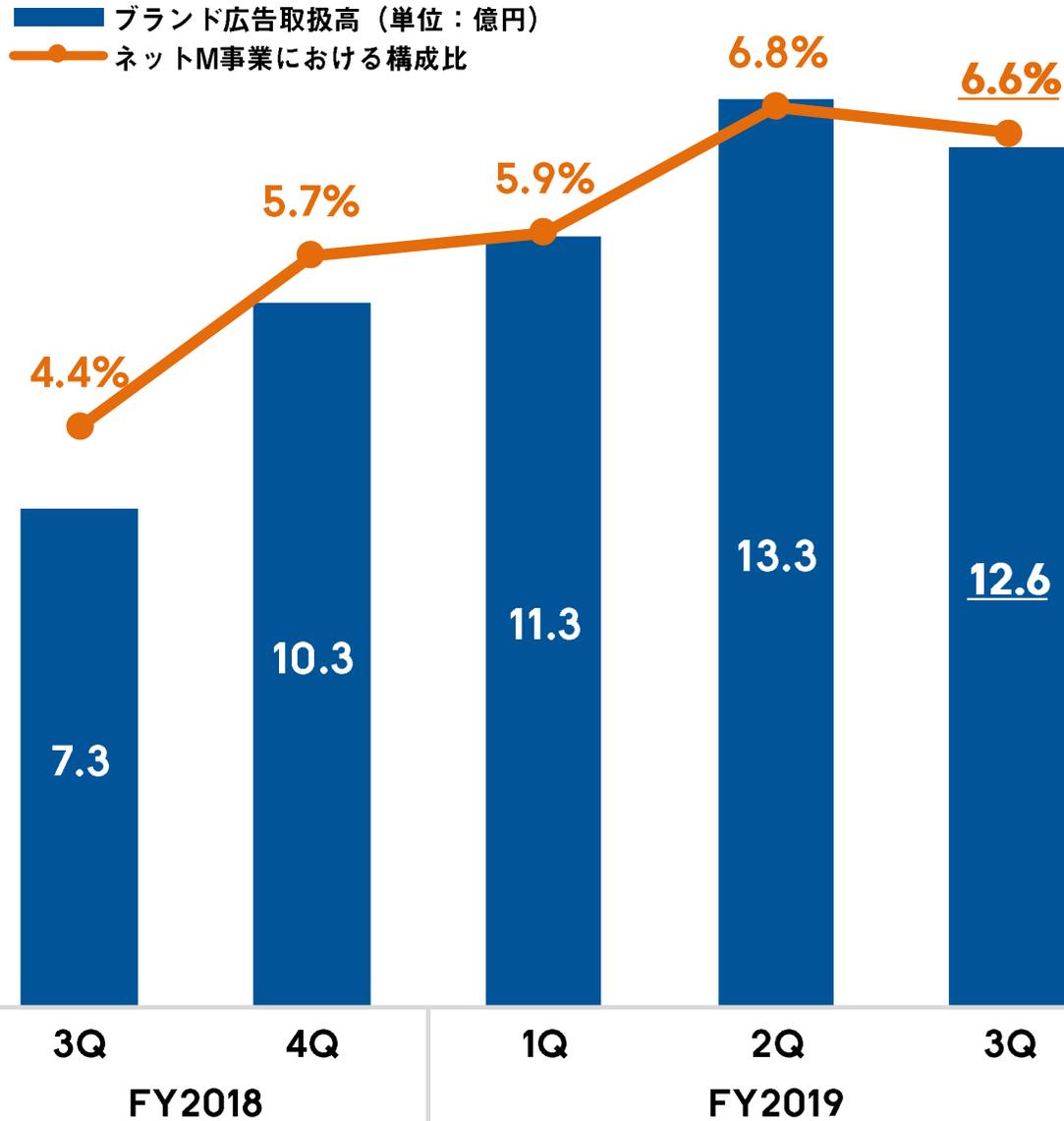


アジア圏の低調な推移により横ばいが継続

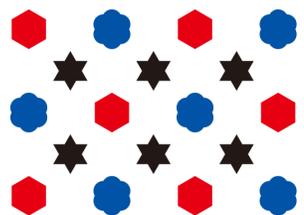
Lion & Lion社については  
経営体制の変更、  
拠点の選択と集中を進め  
再成長を目指す



取扱高、構成比率  
ともに横ばい



オーガニックでの  
拡大を中心に  
前年同期比で  
+72.9%の成長



# SEPTENI

# ONE.MEDIA

新しい動画表現を追求、  
独自のクリエイターネットワークを  
構築し、ミレニアル・Z世代に  
訴求力が高い動画を制作、  
各SNS・OOHなどマルチスクリーン  
向けに配信するワンメディア(株)と  
資本業務提携契約を締結

ブランド広告における動画制作を強化



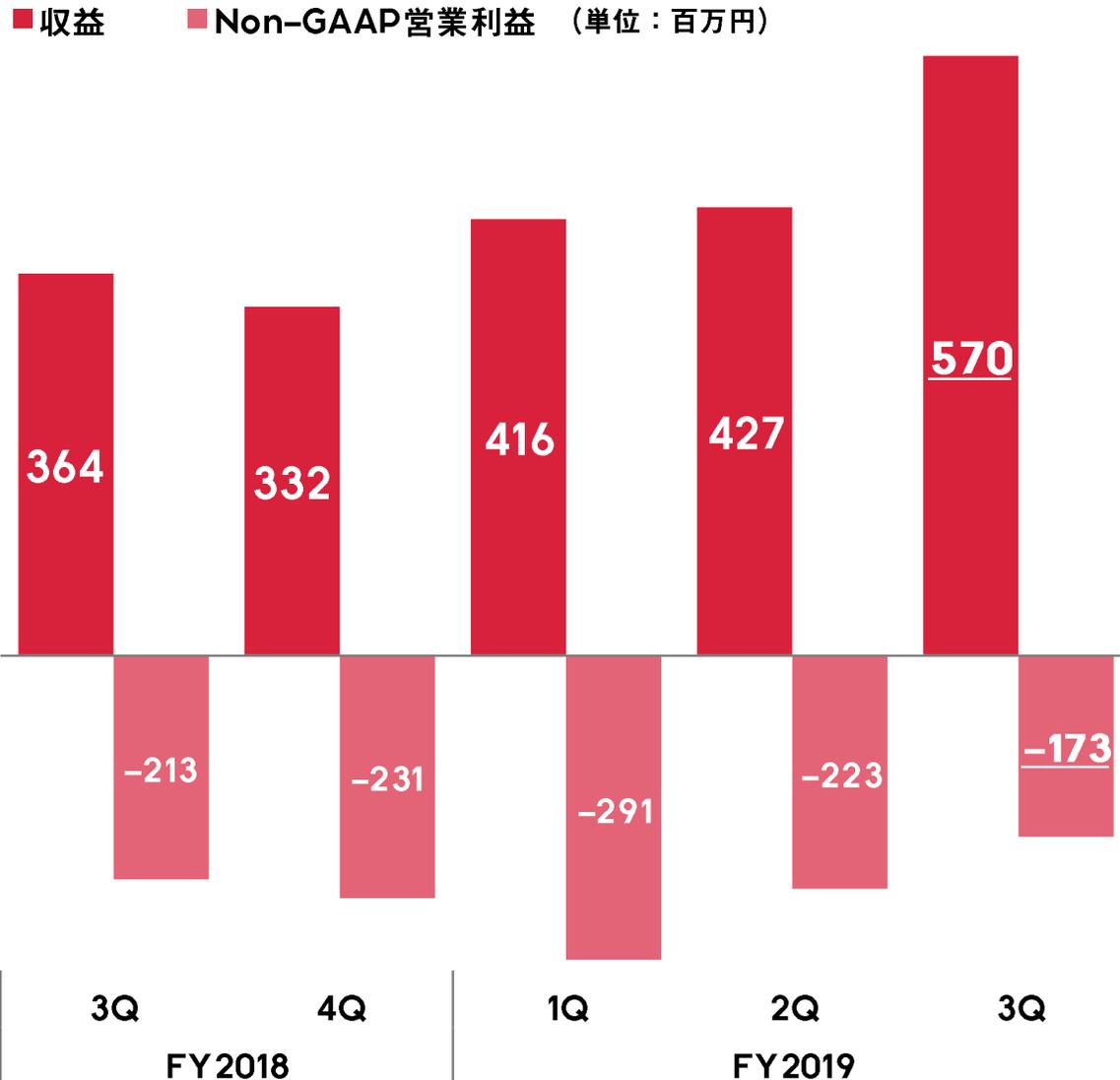
ワンメディア(株)代表取締役・明石ガクト氏

# 04

メディアコンテンツ事業

(単位：百万円)	2019年9月期 3Q			2018/9期 3Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	570	100.0%	+56.8%	364	100.0%
売上総利益	337	59.0%	+48.4%	227	62.3%
販売管理費	509	89.3%	+15.8%	440	120.8%
Non-GAAP 営業利益	-173	—	+40	-213	—

増収に加え、販管費のコントロールにより赤字縮小



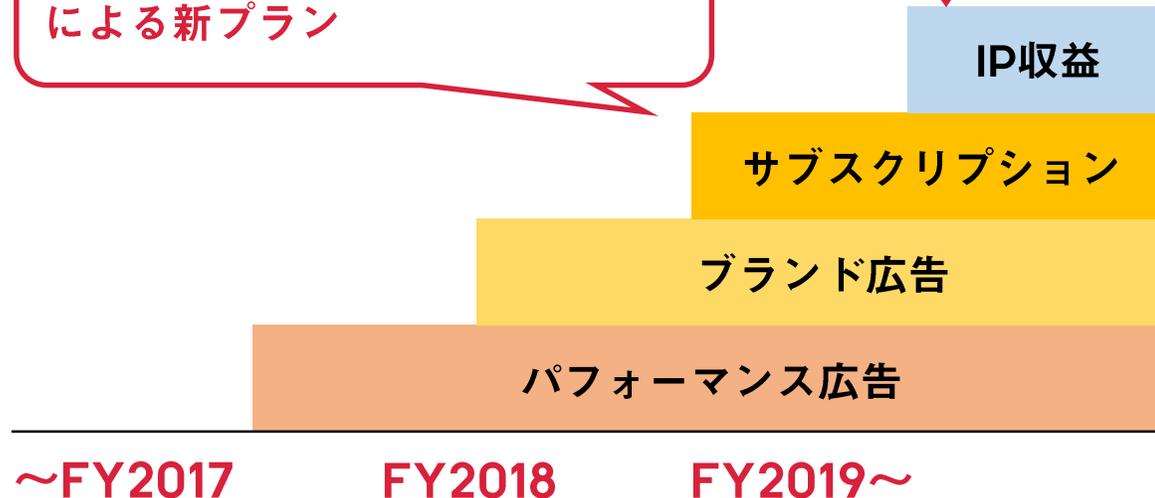
マンガコンテンツ事業は  
季節性の影響を受けるも、  
その他各事業の収益拡大により  
トップラインが大きく伸長

## GANMA!の収益モデル



- ・コンテンツのマルチメディア展開
- ・クラウドファンディング 等

アプリのメジャーアップデートによる新プラン



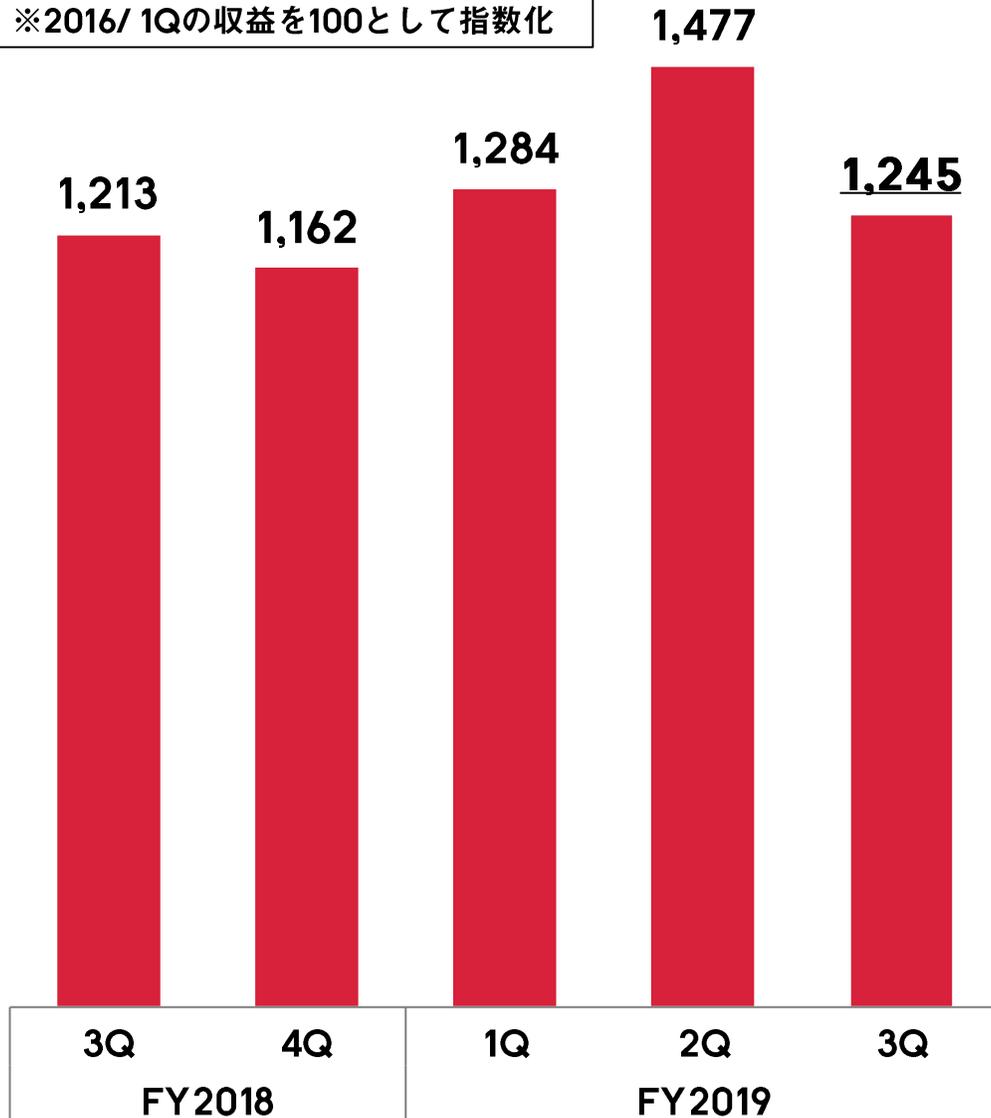
累計DL数：1,252万件

月間PV数：27.2億PV

(2019年6月末時点)

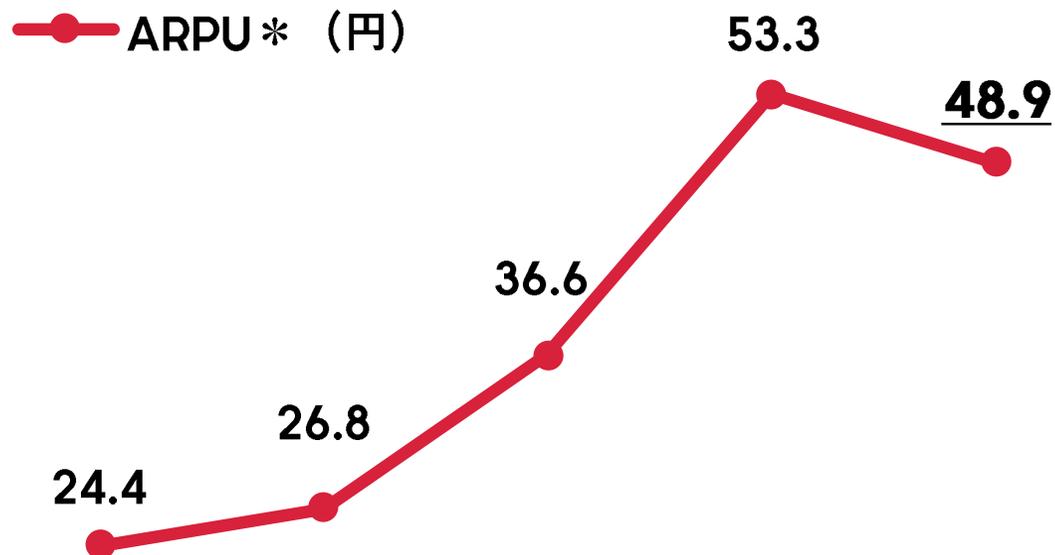
パフォーマンス広告に加え、**ブランド広告**や**サブスクリプション**収益での積み上げを目指す

※2016/1Qの収益を100として指数化



パフォーマンス広告の  
収益が減少

ブランド広告と  
サブスクリプションは  
堅調な推移



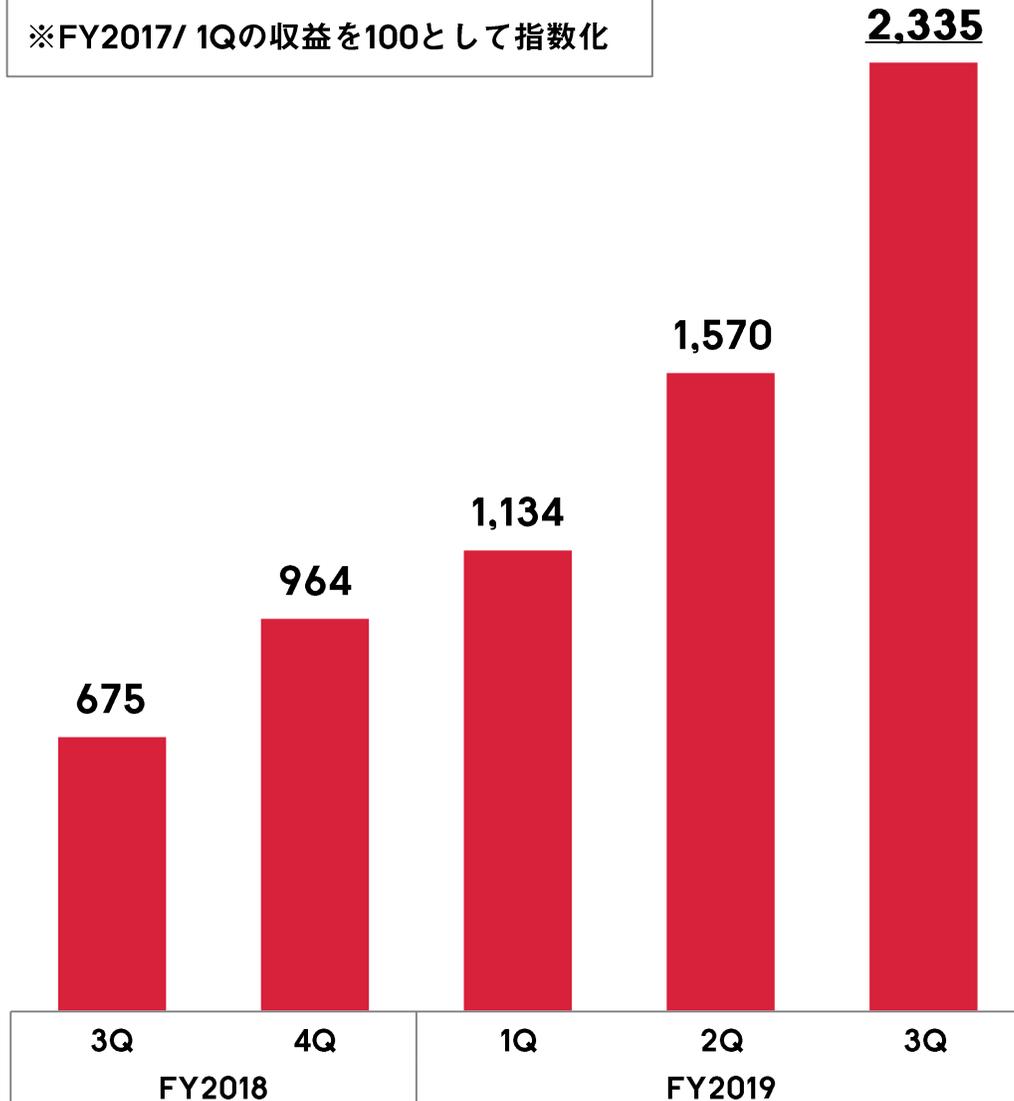
季節性の影響により  
QonQでは減少

サブスクリプション  
開始による収益増により  
前年同月比では大幅に増加

6月	9月	12月	3月	6月
	2018		2019	

\* ARPUの定義：マンガコンテンツ事業の収益（広告、課金、IP収益など）/MAU

※FY2017/ 1Qの収益を100として指数化



2018年12月のアプリ  
アップデート以降、  
順調な推移が継続

課金者数の増加及び  
単価の向上により  
サブスクリプション  
収益が増加

\*前年度まで「課金収益」として開示

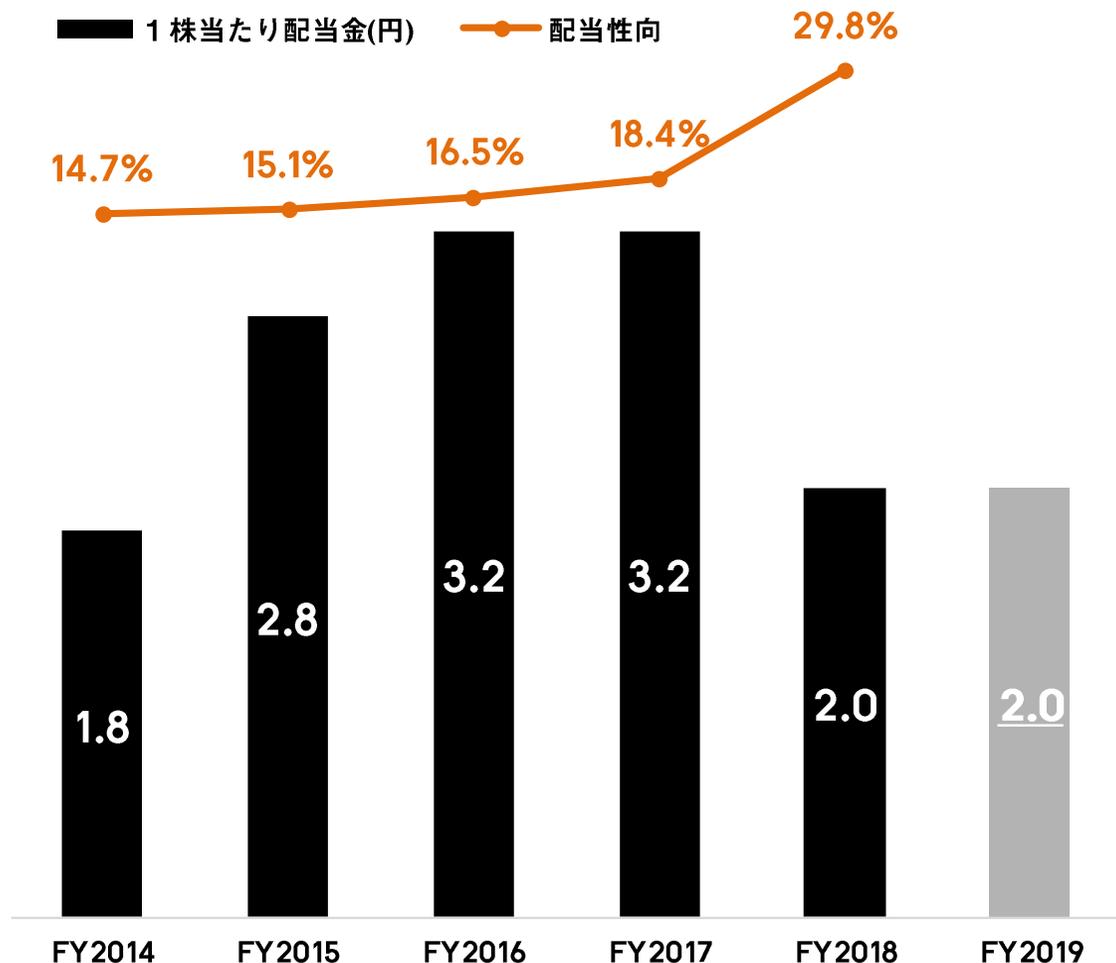
# 05

**業績予想修正と配当予想**

(単位：百万円)	収益	Non-GAAP 営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A)	17,200	2,000	1,300	10円28銭
今回発表予想 (B)	17,200	2,000	△734	△5円81銭
増減額 (B-A)	—	—	△2,034	
増減率 (%)	—	—	—	
前期実績 (2018年9月期)	15,272	1,011	847	6円71銭
修正理由	・ Lion & Lion社に係るのれん等の一時的な減損損失の計上			

減損の影響により、当期利益予想を下方修正

4QはLion & Lion社の構造改革費用を見込みNon-GAAP営業利益予想は据え置く

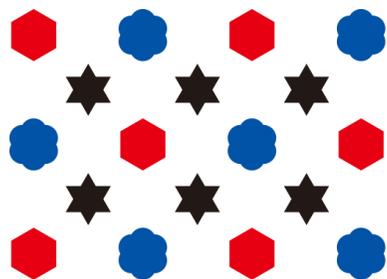


減損により当期利益は一時的に落ち込むも、当事業年度のキャッシュフローに影響はなし

配当の継続性・安定性に配慮し  
2019年9月期の期末配当金は  
**2.0円**（下限）を予定

※2016年10月1日付で1：5の株式分割を実施。上記グラフの過年度1株当たり配当金は、分割調整後の金額を算出し、比較

# 本日はありがとうございました。



# SEPTENI

お問い合わせ先

セプテーニ・ホールディングス 経営企画部IR課

[www.septeni-holdings.co.jp](http://www.septeni-holdings.co.jp)

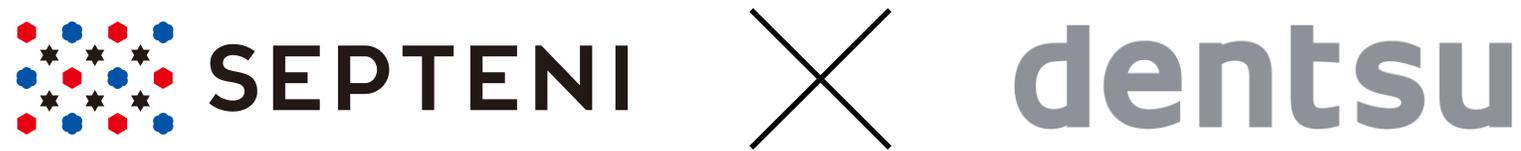
TEL : 03-6857-7258 E-mail : [ir@septeni-holdings.co.jp](mailto:ir@septeni-holdings.co.jp)

※各種数値の過去推移につきましては、次ページ以降の補足資料に記載しておりますので、併せてご参照ください。

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2019年7月30日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません。  
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。

06

補足資料



両社（セプターニグループ及び電通グループ）の連携により、

多様な才能を持った人材が集う働きがいあふれる組織環境を基盤として

顧客に対して最も優れたソリューションを提供することで業界の発展を牽引する、

国内最大のデジタルマーケティングパートナーになることを目指す

両社における専門性の違い・強みを活かし、短期・中期での施策を通じた  
シナジー創出により顧客に提供する付加価値を向上させる



SEPTENI

短期・中期的施策群

dentsu

当社から電通グループへ  
ネットマーケティング事業の  
ナレッジ、テクノロジーの提供

GANMA! を中心とした  
当社メディアやプロダクトの  
電通グループによる販売

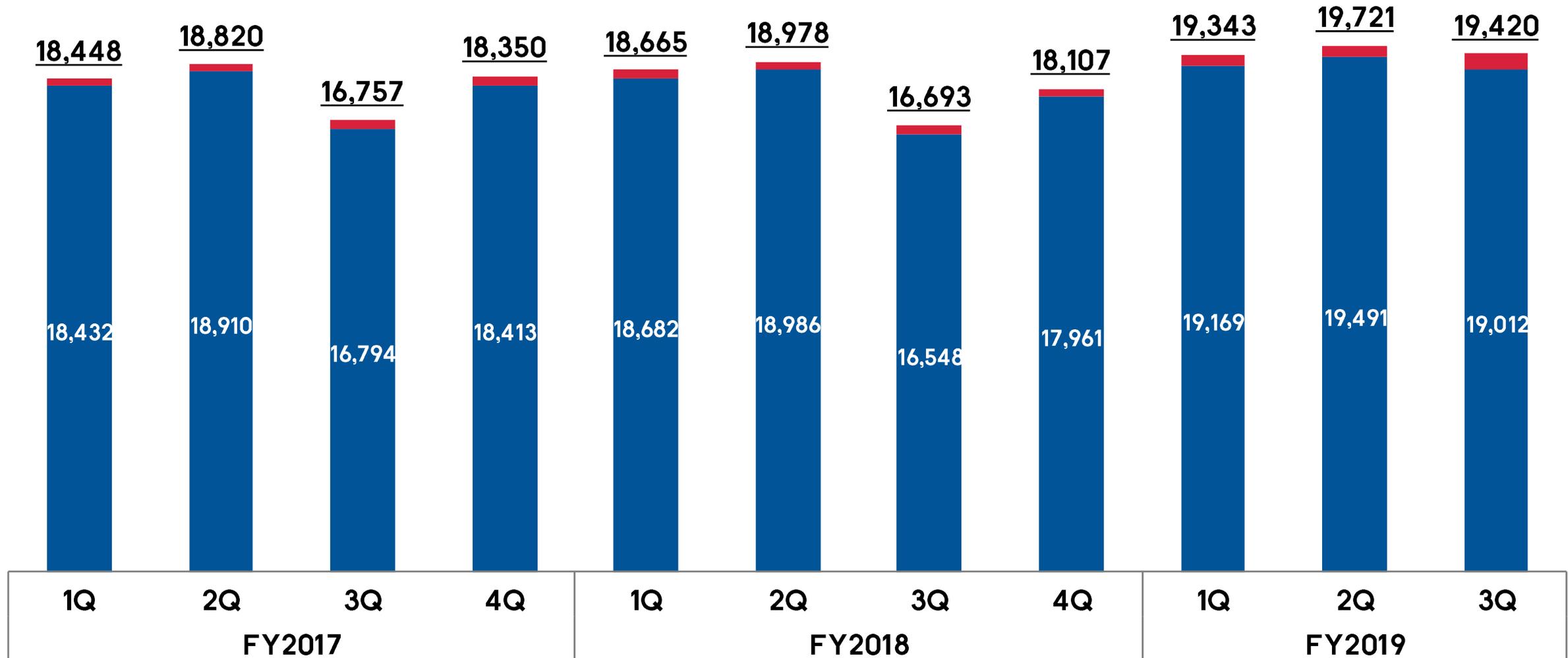
電通グループが取り扱う  
ネットマーケティング案件の  
広告運用を当社より支援

両社が保有する  
データ資産の相互活用

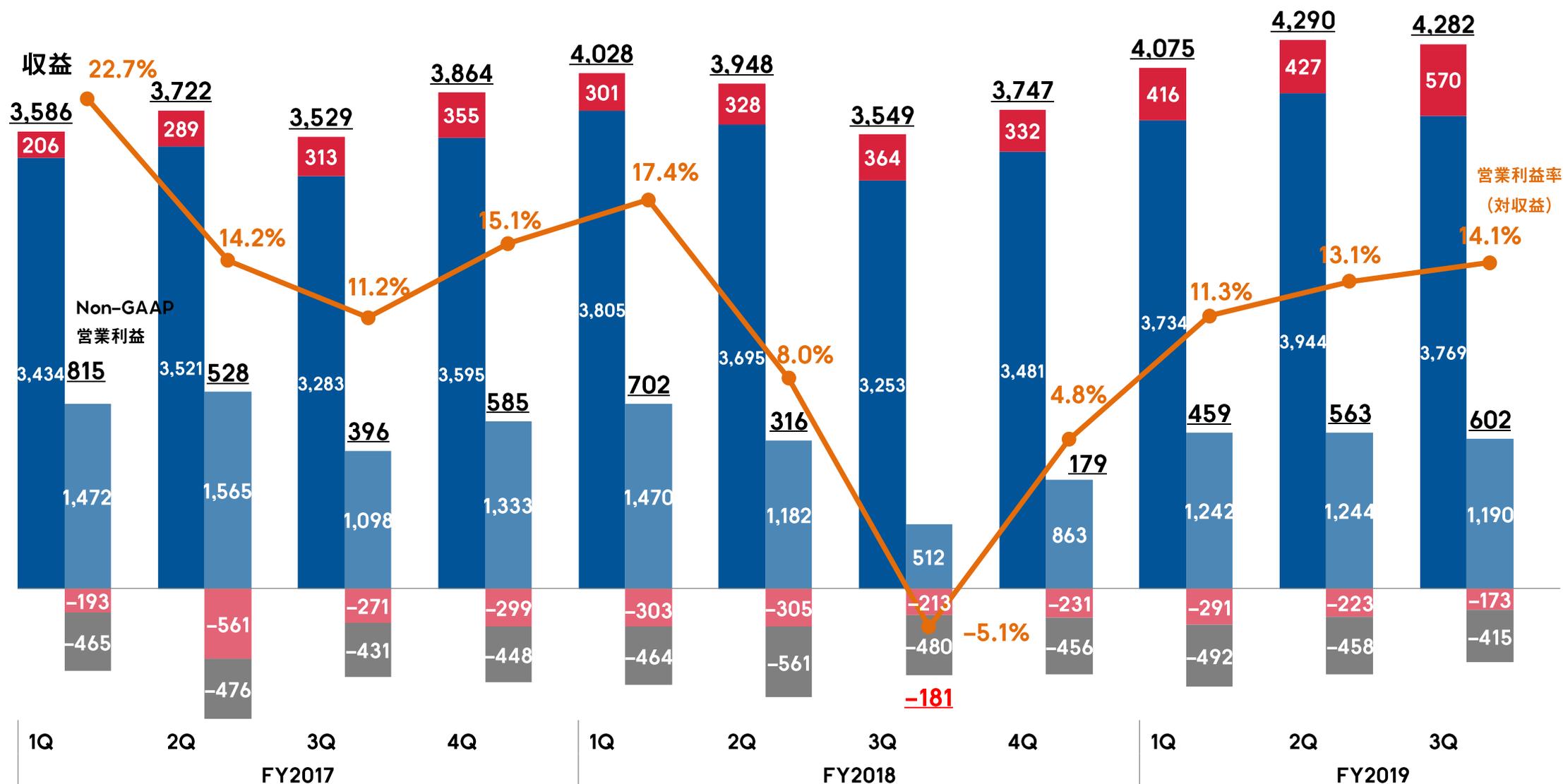
両社の顧客基盤を活用した  
オンライン/オフライン広告の  
統合マーケティング提案

■ ネットマーケティング事業

■ メディアコンテンツ事業（単位：百万円）

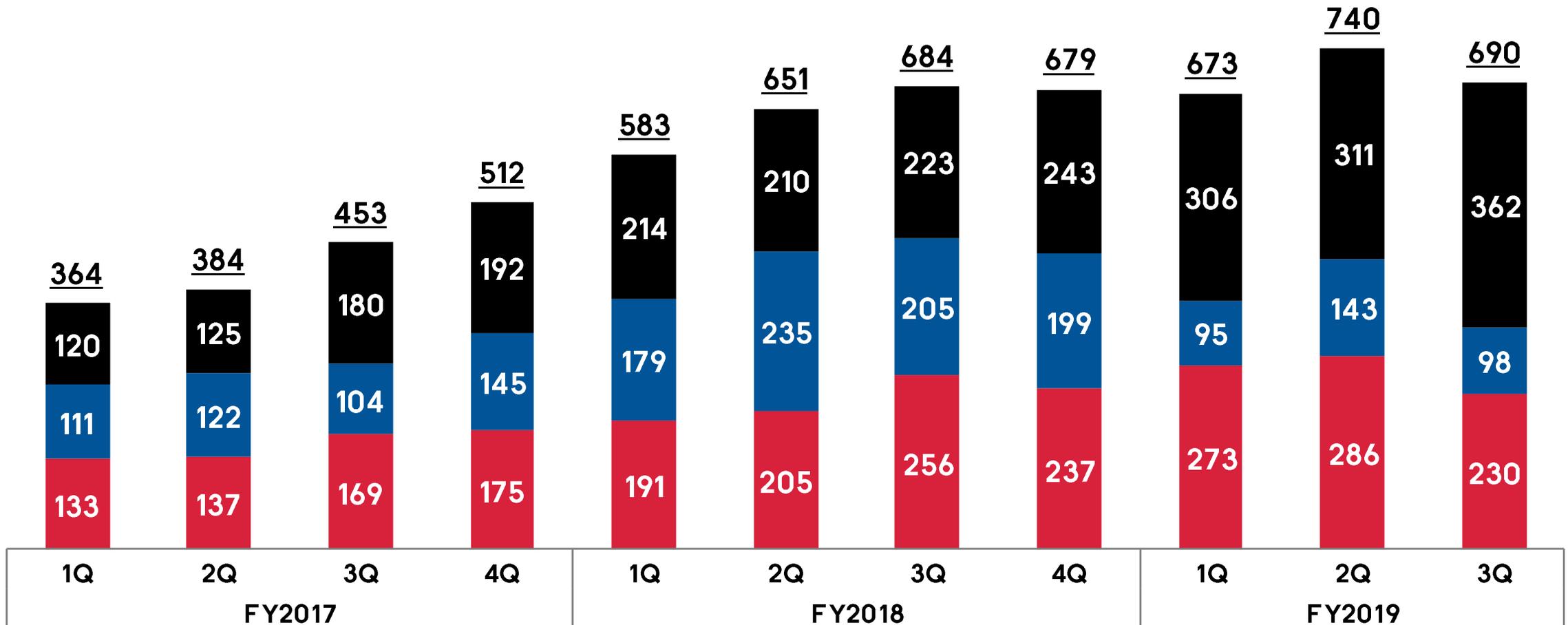


※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益（下線付数値）は一致しない  
 ※メディアコンテンツ事業は売上高と収益が等しいため、詳細数値は後述の「メディアコンテンツ事業 四半期推移」を参照

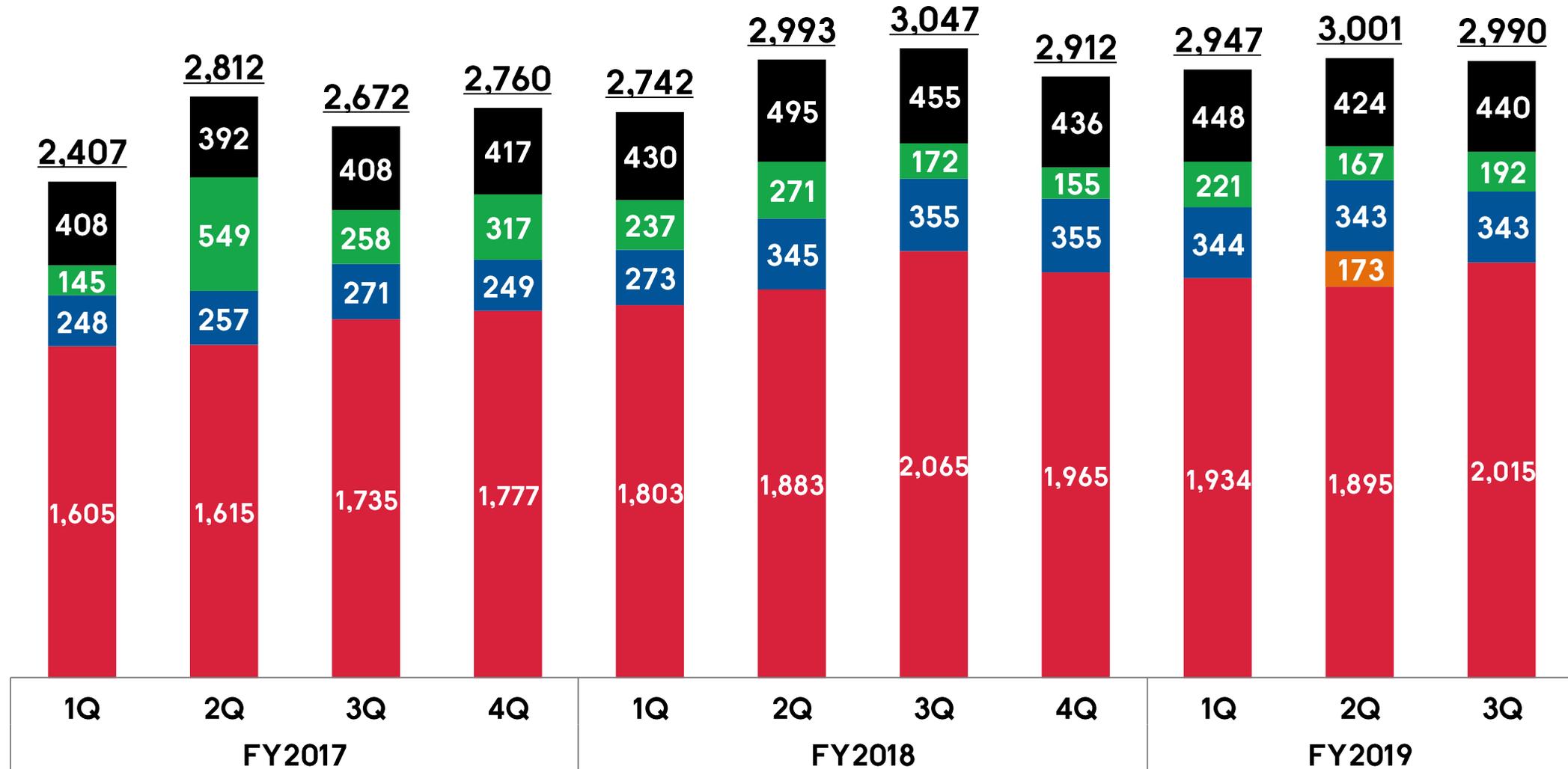


(単位：百万円)	FY2017				FY2018				FY2019			QonQ	YonY
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
売上原価合計	364	384	453	512	583	651	684	679	673	740	690	-6.8%	+0.9%
人件費	133	137	169	175	191	205	256	237	273	286	230	-19.5%	-10.1%
外注費	111	122	104	145	179	235	205	199	95	143	98	-32.0%	-52.3%
その他	120	125	180	192	214	210	223	243	306	311	362	+16.6%	+62.9%
販管費合計	2,407	2,812	2,672	2,760	2,742	2,993	3,047	2,912	2,947	3,001	2,990	-0.4%	-1.9%
人件費	1,605	1,615	1,735	1,777	1,803	1,883	2,065	1,965	1,934	1,895	2,015	+6.3%	-2.4%
追加決算賞与	—	—	—	—	—	—	—	—	—	173	—	—	—
賃借料	248	257	271	249	273	345	355	355	344	343	343	+0.0%	-3.2%
販促費・広告費	145	549	258	317	237	271	172	155	221	167	192	+14.9%	+11.8%
その他	408	392	408	417	430	495	455	436	448	424	440	+3.8%	-3.5%

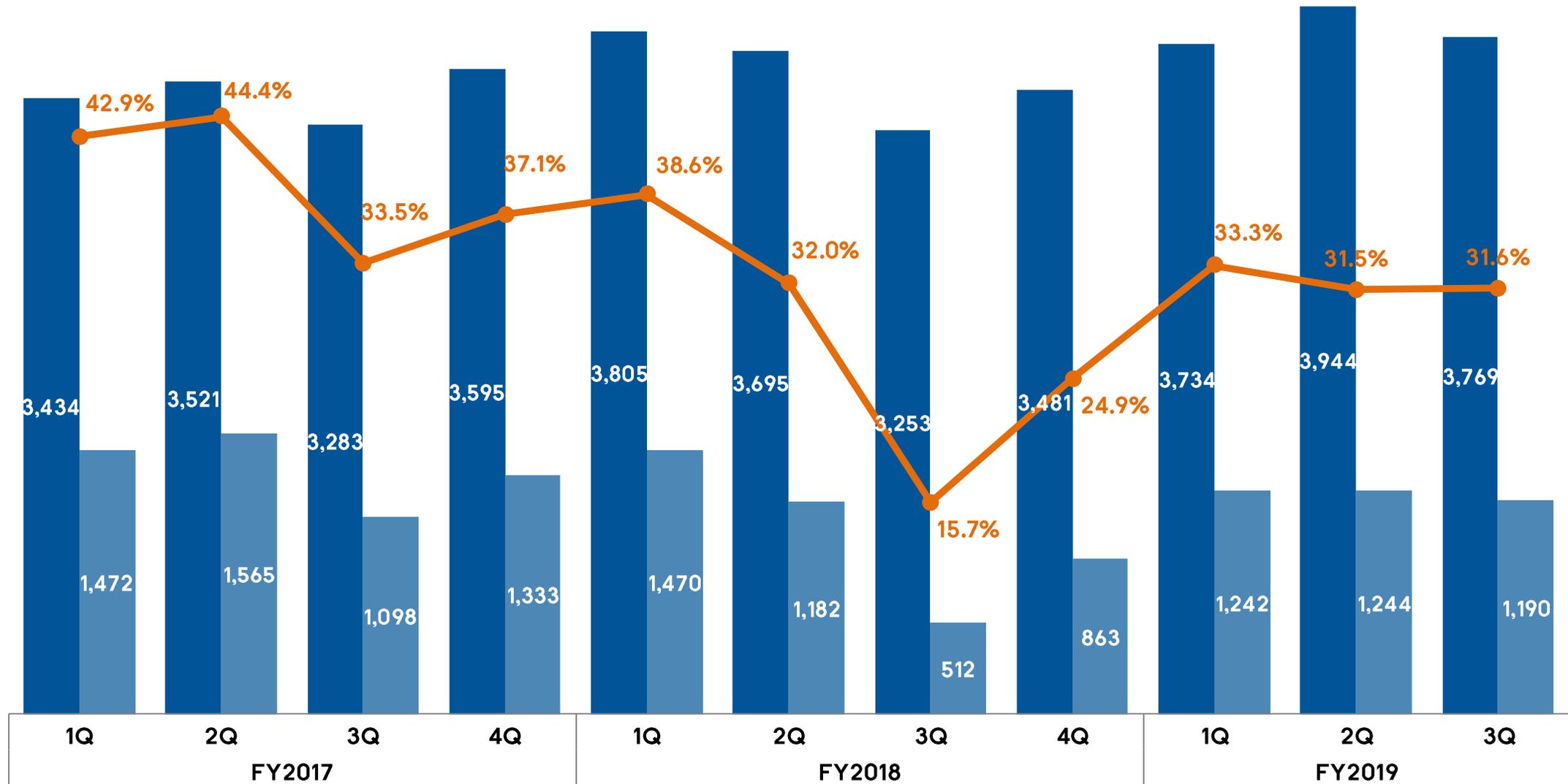
■ 人件費 ■ 外注費 ■ その他 (単位：百万円)

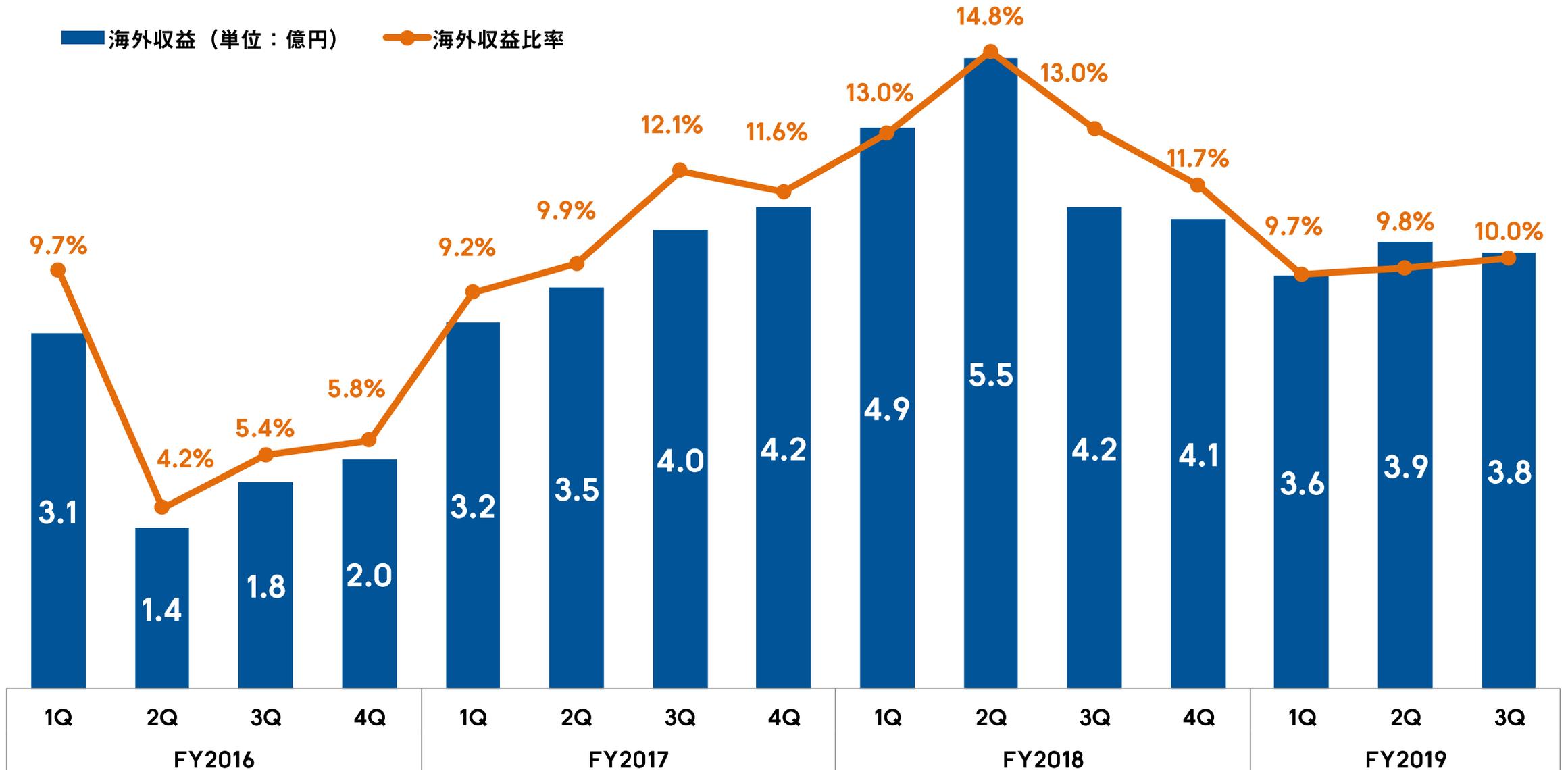


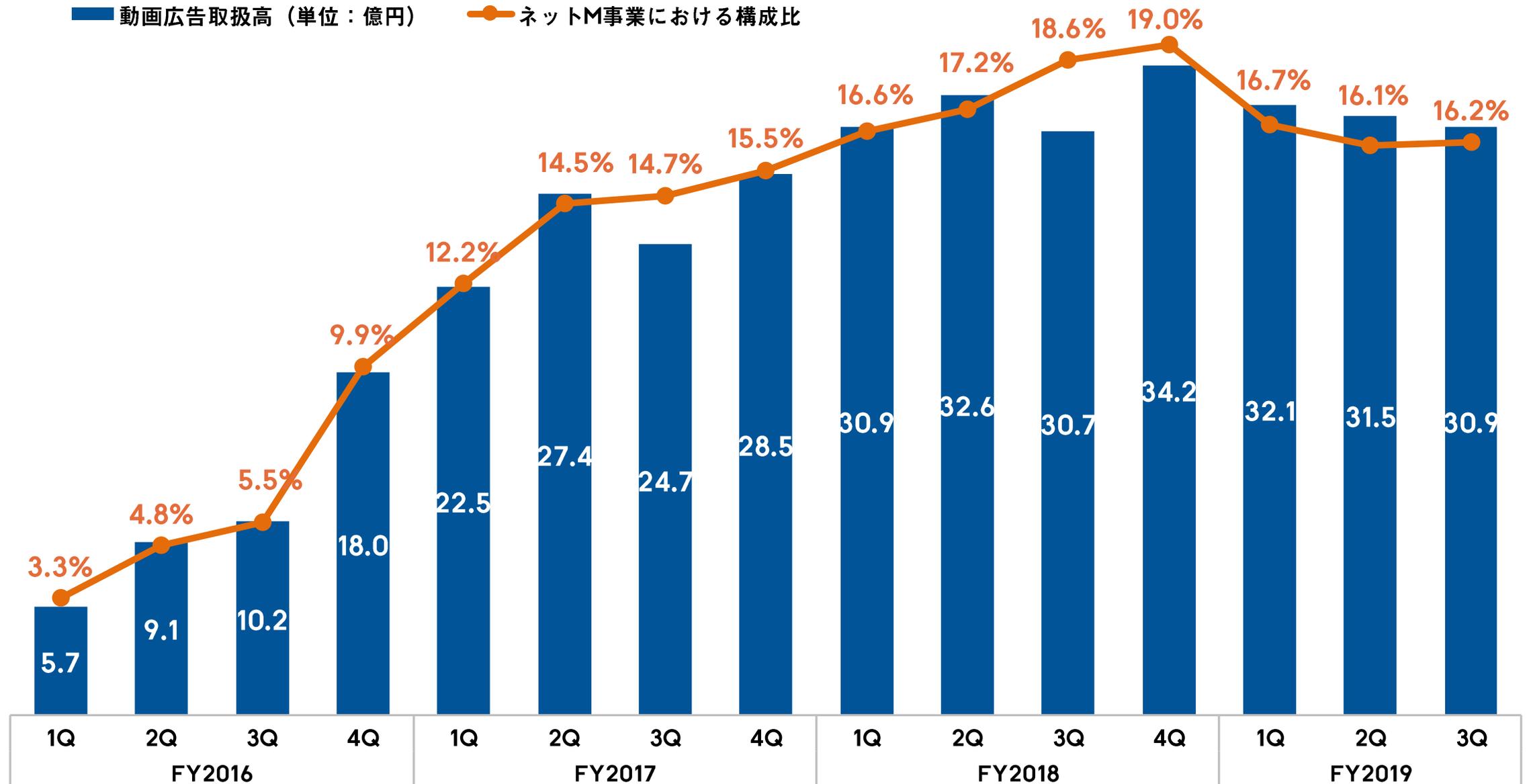
■ 人件費 ■ 追加決算賞与 ■ 賃借料等 ■ 広告宣伝費 ■ その他（単位：百万円）

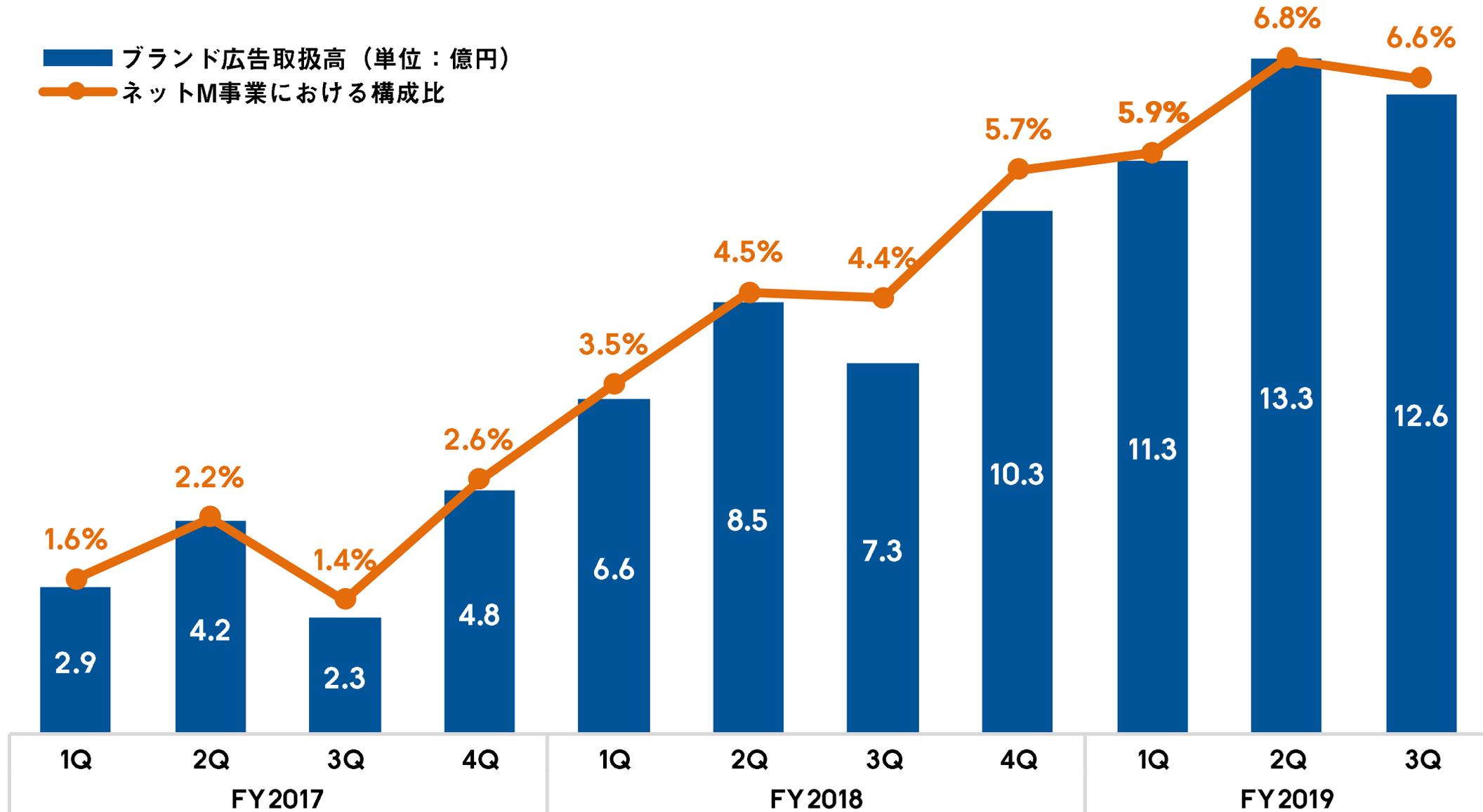


■ 収益    ■ Non-GAAP営業利益 (単位：百万円)    ● 営業利益率 (対収益)

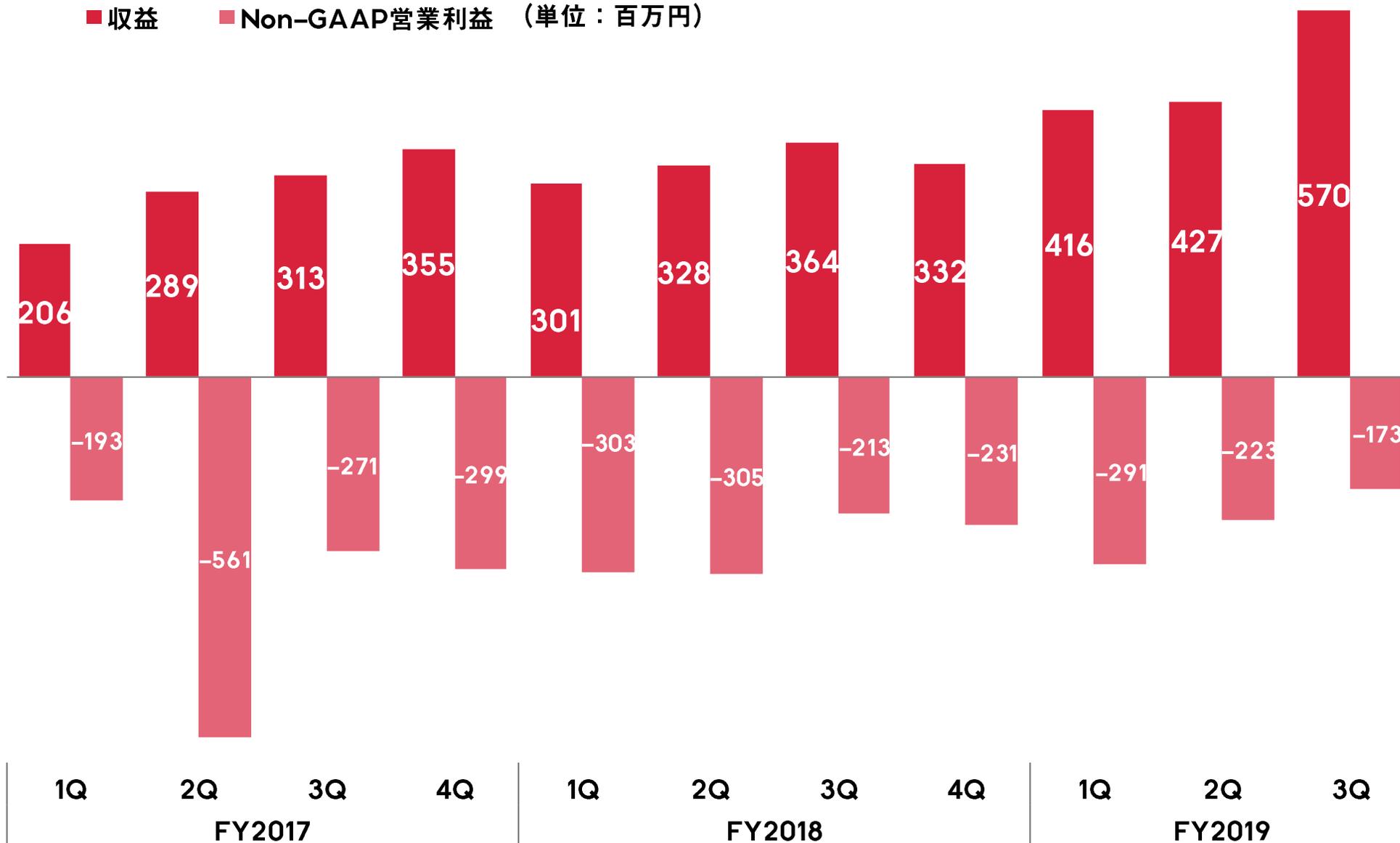


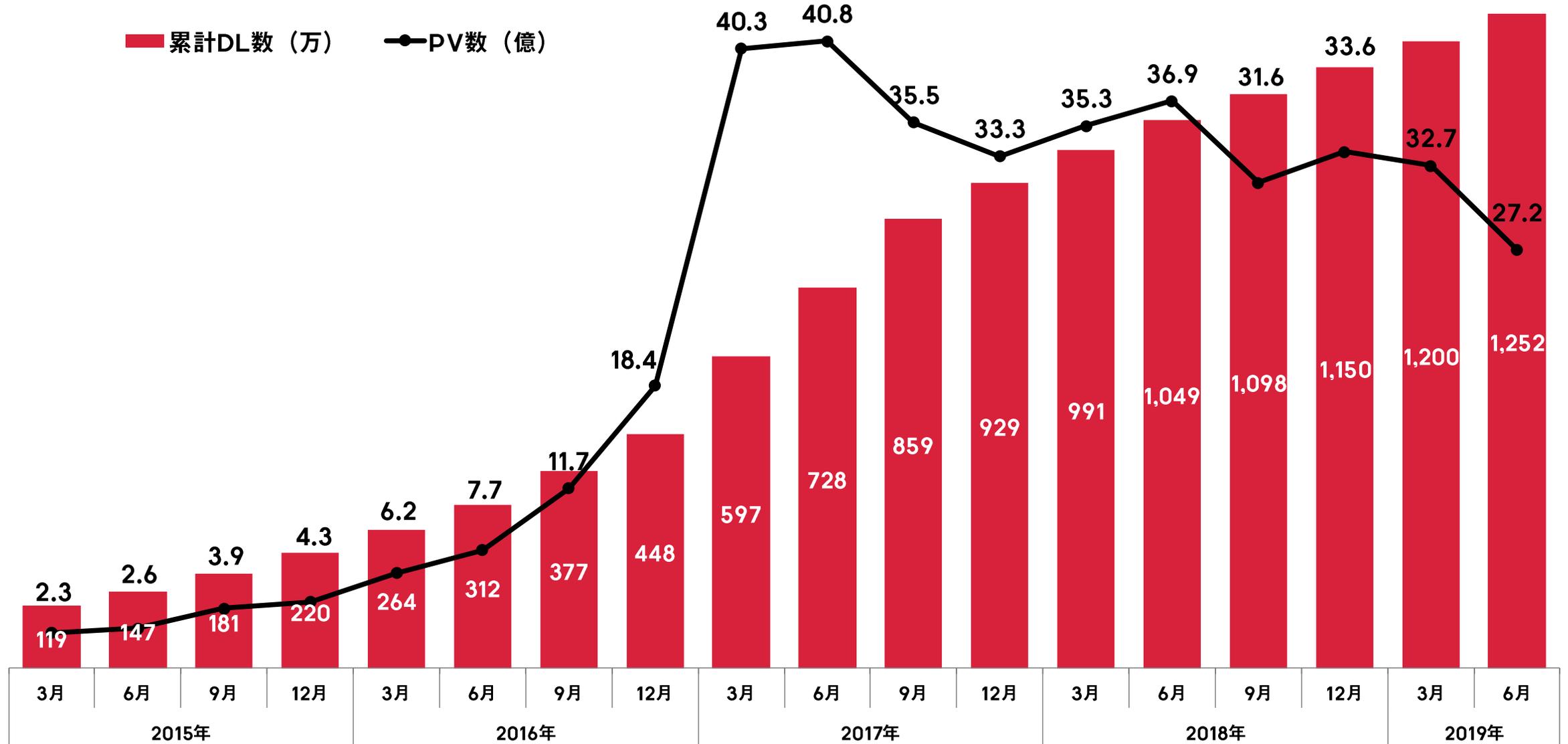




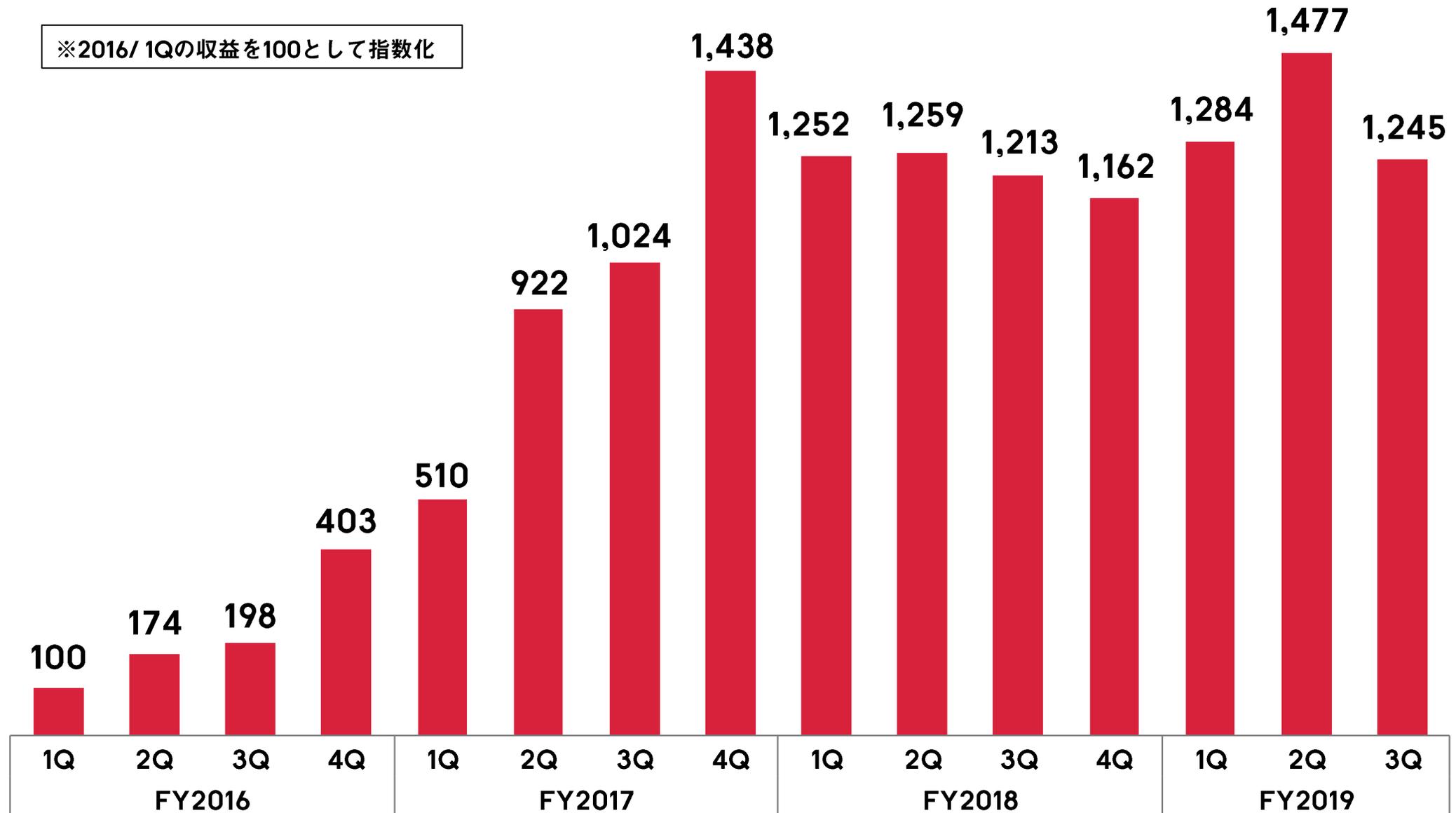


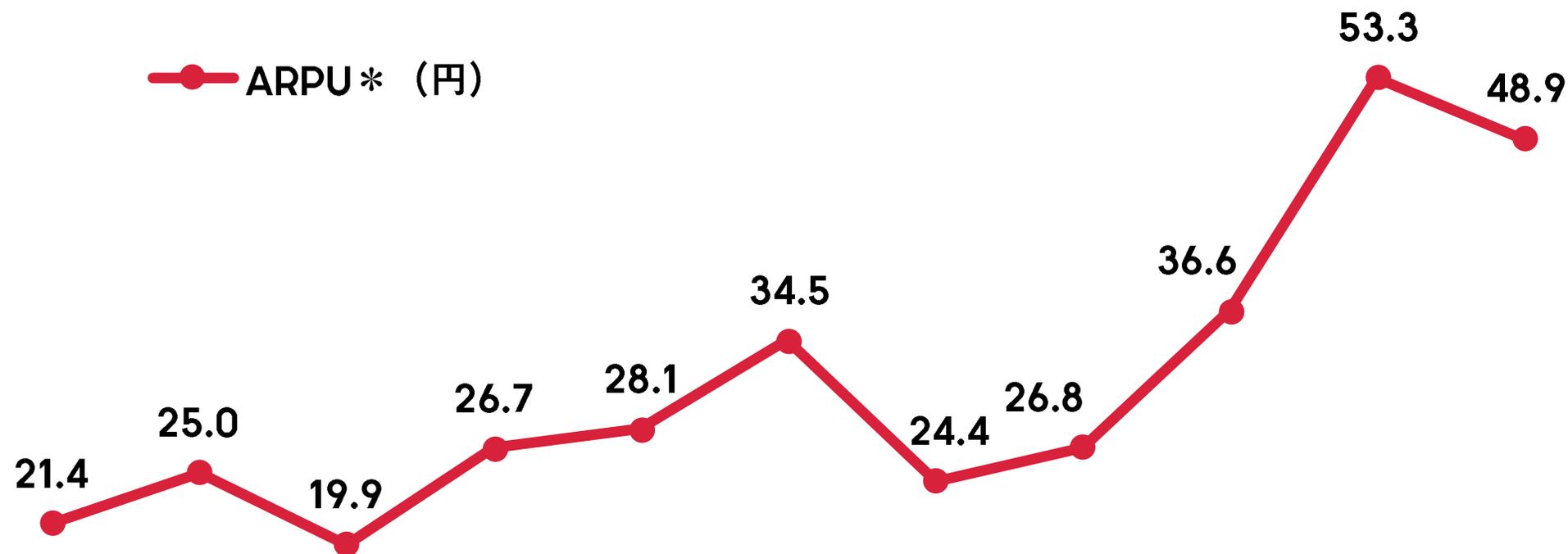
■ 収益 ■ Non-GAAP営業利益 (単位：百万円)





※2016/1Qの収益を100として指数化



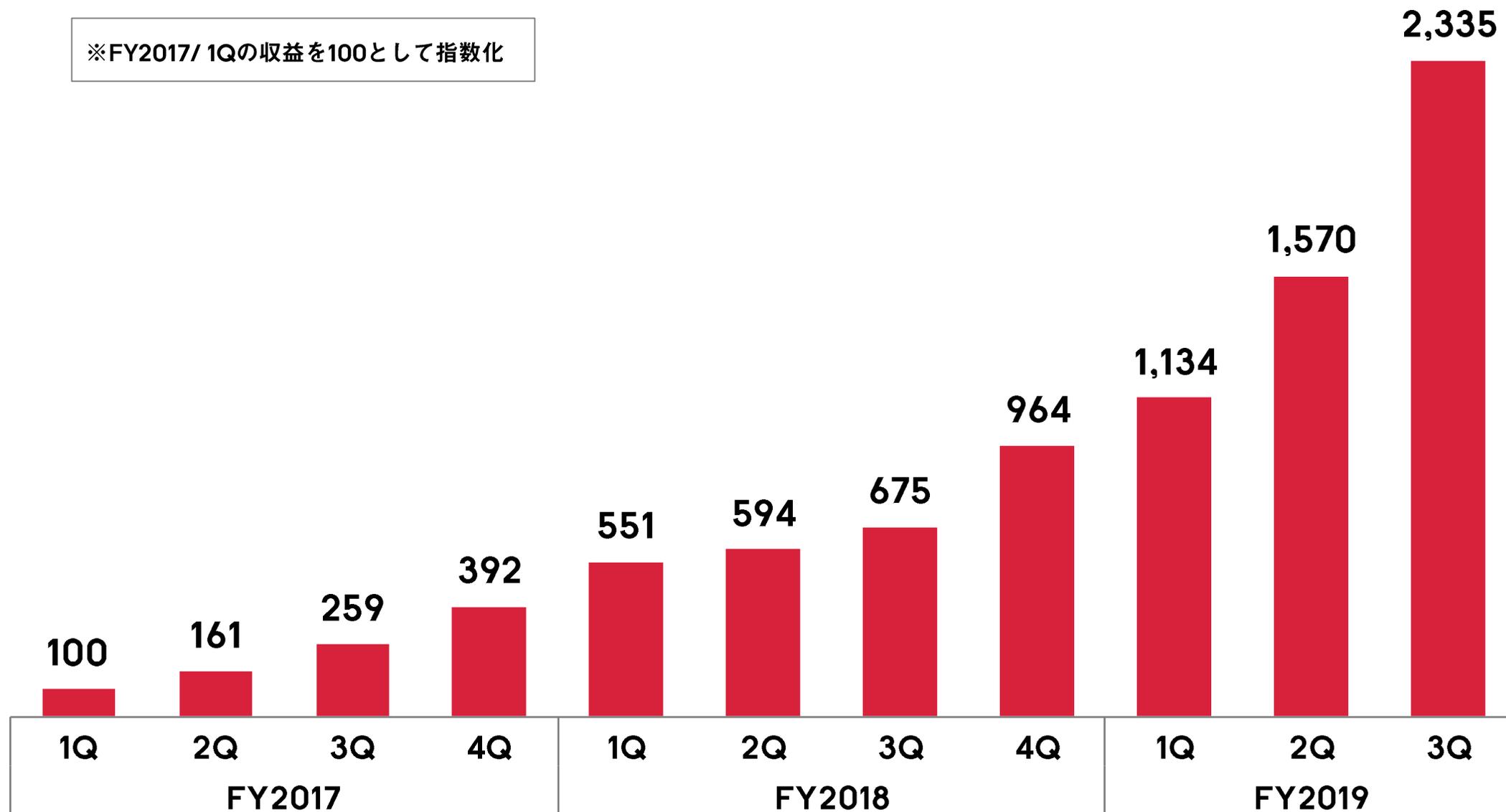


12月 2016	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月
	2017				2018				2019	

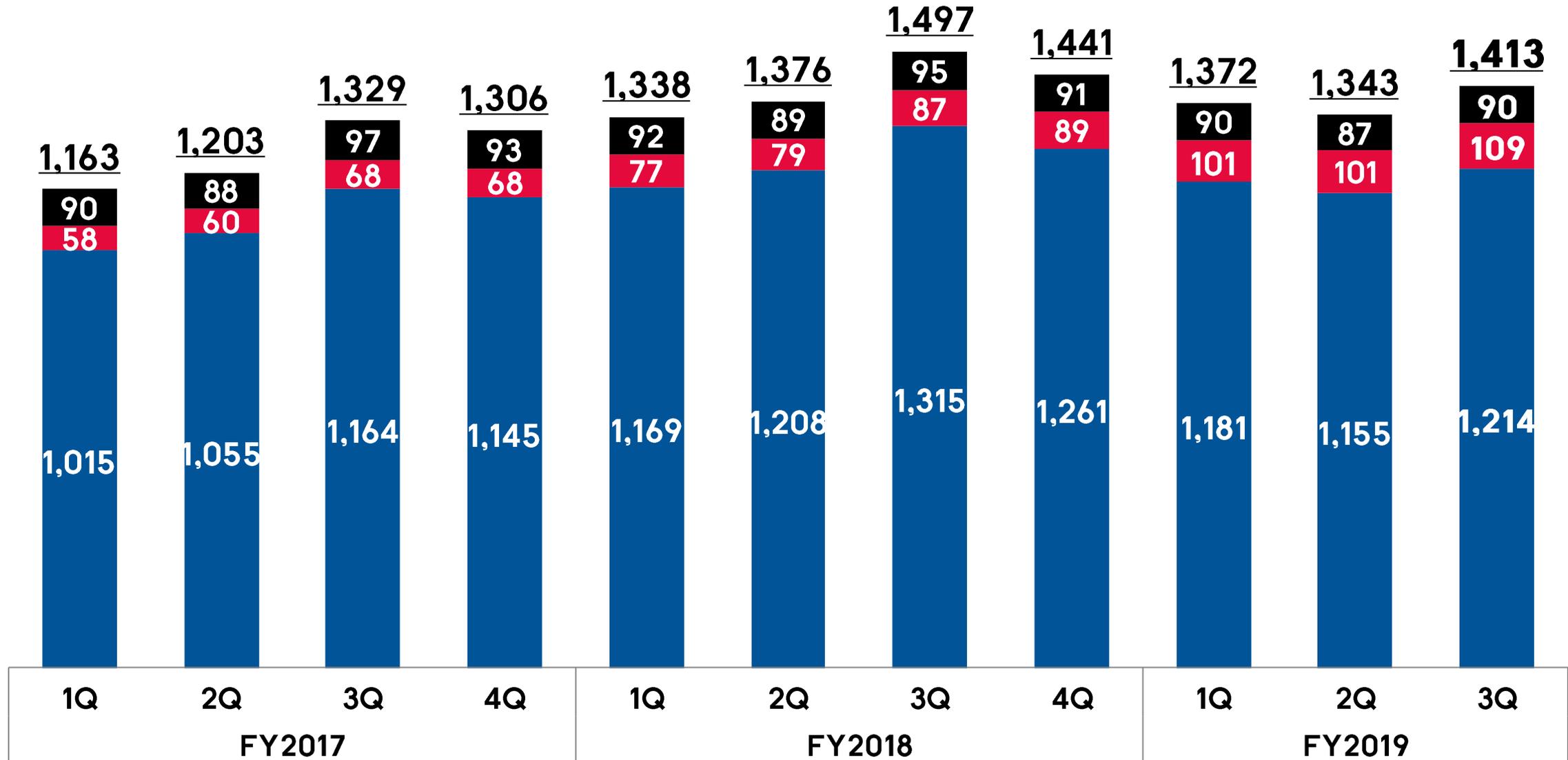
\* ARPUの定義：マンガコンテンツ事業の収益（広告、課金、IP収益など）/MAU



※FY2017/1Qの収益を100として指数化



■ ネットマーケティング事業 ■ メディアコンテンツ事業 ■ 持株会社 (単位:名)



会 社 名	株式会社セプテーニ・ホールディングス
代 表 者	代表取締役 グループ社長執行役員 佐藤 光紀
所 在 地	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
証 券 コ ー ド	4293 (JASDAQ)
事 業 内 容	インターネット事業を中心に事業展開する企業グループを統括する持株会社
設 立 日	1990年10月29日
資 本 金	2,125百万円
発 行 済 株 式 数	138,906,500株 (うち自己株式10,724,240株)※
連 結 従 業 員 数	1,413名 (従業員) うち1,203名 (正社員)

※役員報酬BIP (Board Incentive Plan) 信託が保有する当社株式1,739,200株は含んでおりません。

**純粋持株会社**
**セプテーニ・ホールディングス**
**ネットマーケティング事業**

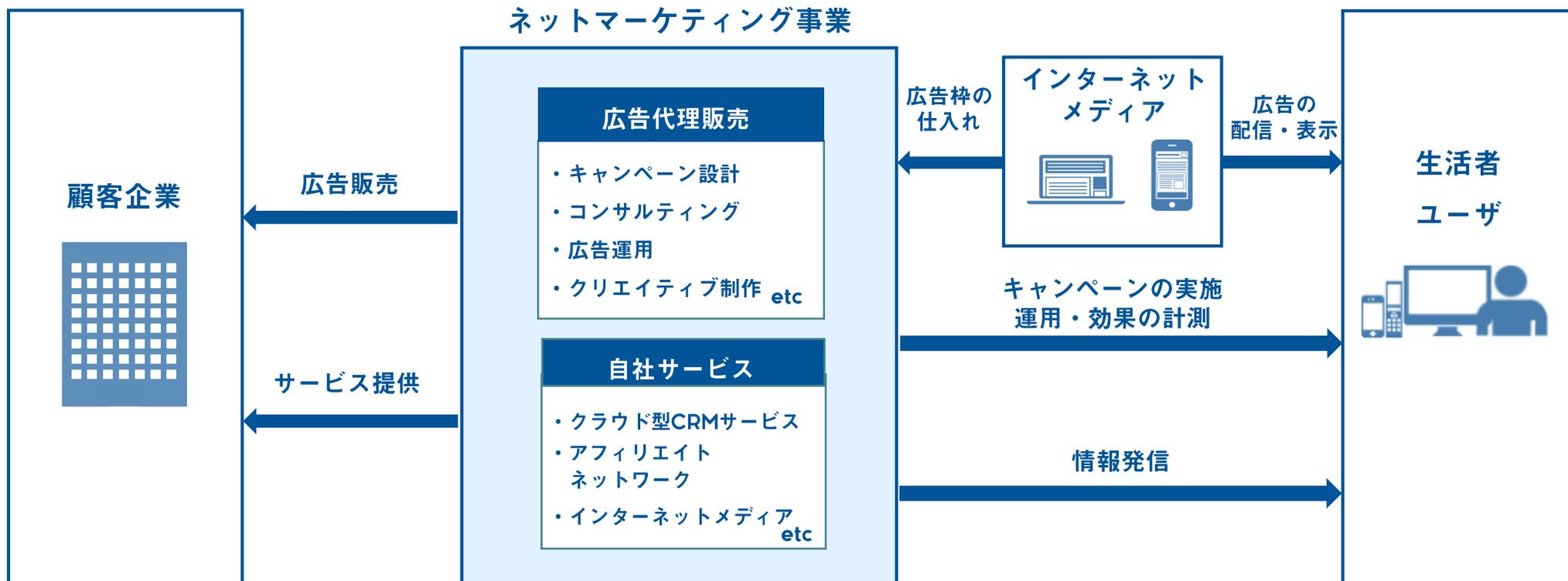
セプテーニ	インターネット広告事業、インターネット上のプロモーション全般支援	Septeni Japan	日本におけるインターネット広告事業
MANGO	SEMオペレーション	ハイスコア	スマートフォンマーケティング支援事業
セプテーニ・オリジナル	ウェブサービスの企画・開発	Septeni Ad Creative	インターネット広告クリエイティブの企画・制作
セプテーニ・クロスゲート	アフィリエイトネットワーク	トライコーン	CRMサービス事業
Septeni Asia Pacific	アジア太平洋地域におけるインターネット広告事業	Septeni America	北米地域におけるインターネット 広告事業
七域広告	中国におけるインターネット広告事業	SEPTENI TECHNOLOGY	ウェブサービスの開発等
JNJ INTERACTIVE	韓国におけるインターネット広告事業	Lion Digital Global	東南アジア地域におけるインターネット広告事業

**メディアコンテンツ事業**

コミックスマート	マンガコンテンツ事業	gooddo	社会貢献プラットフォーム事業
ビビビット	採用プラットフォーム事業	Pharmarket	医療プラットフォーム事業
TowaStela	育児プラットフォーム事業	デライトチューブ	インターネットメディアの企画、制作、運営
HEDGEHOG PRODUCTS	アプリ・広告プロダクト開発		

**新規事業開発**
**セプテーニ・ベンチャーズ**

インターネットを活用した包括的な**マーケティング支援サービス**を企業向けに展開。  
スマートフォン向けを中心としたインターネット広告の販売をはじめ、  
**自社サービス**としてクラウド型CRMサービスやアフィリエイトネットワーク等  
マーケティングプラットフォームの運営を手がける。



「マンガコンテンツ事業」では、**自社IP(知的財産)の企画・開発**を目的にマンガ家の育成・支援を手がけるとともに、専属作家によるオリジナル作品を中心に構成されたマンガアプリ「GANMA!」を**自社メディア**として運営。

その他に、社内ベンチャーから生まれた新規事業として、「採用」「社会貢献」「医療」に関するプラットフォーム型の事業等を展開。



(単位：百万円)	2019年9月期 3Q末	2018年9月期 期末	増減	主な変動
流動資産合計	26,117	26,223	△106	営業債権+579 その他流動資産△623
非流動資産合計	5,119	7,148	△2,029	のれん△1,831
資産合計	31,236	33,371	△2,135	
流動負債合計	12,936	12,690	+246	営業債務+733 その他の金融負債△294 未払法人所得税△185
非流動負債合計	4,117	4,951	△834	その他の金融負債△621 繰延税金負債△218
負債合計	17,053	17,641	△588	
資本合計	14,183	15,730	△1,547	利益剰余金△1,267 その他の資本構成要素△241
負債及び資本合計	31,236	33,371	△2,135	

(単位：百万円)	2019年9月期 3Q (10-6月)	主な内訳	2018年9月期 3Q (10-6月)
営業活動による キャッシュ・フロー	<b>1,579</b>	減損損失の計上+1,812 営業債権の増加△579	△450
投資活動による キャッシュ・フロー	△387	有価証券の取得△277 有形固定資産の取得△43	△196
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,178	借入金の増減△925 配当金の支払い△253	△424
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△78		△6
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△63		△1,076
現金及び現金同等物の 期末残高	<b>14,859</b>		<b>14,443</b>